

成 城 大 学
図 書 館 年 報

第 14 号
(2012)

2 0 1 2 年 度

図 書 館 業 務 報 告

目 次

はじめに	3
I 概況	4
1 2012年度の図書館業務	4
(1) 図書館業務の概況	4
(2) 総務課業務報告	6
(3) 整理課業務報告	8
(4) 運用課業務報告	9
(5) 図書選定委員会報告	11
(6) 広報委員会報告	12
(7) 書庫問題検討委員会報告	14
(8) システム委員会報告	15
(9) 資料保存修復委員会報告	16
(10) スチューデントアシスタントワーキンググループ報告	17
(11) 情報リテラシー教育ワーキンググループ報告	18
(12) アクティブラーニング実施委員会報告	20
2 図書館相互利用	21
(1) 五大学図書館長懇談会	21
(2) 世田谷6大学図書館相互利用専門委員会	22
(3) 四大学相互利用実績	23
(4) 世田谷6大学図書館相互利用実績	24
II 2012年度の委員会報告	25
1 図書館委員会報告	25
2 運営会報告	26
3 3号館雑誌室・書庫運営委員会報告	34
III 2012年度の図書館年次統計	35
1 現況	35
(1) 利用状況	35
(2) 所蔵資料数	35
2 受入報告	36
(1) 図書受入報告	36
(2) 雑誌受入報告	36
(3) マイクロ・AV受入報告	37
(4) 学習図書年度別受入一覧	38
(5) 電子情報資源種類	38
3 整理業務統計	39
(1) 図書整理冊数	39

(2) 修士論文整理数	39
(3) 博士論文整理数	39
(4) N I I 登録件数	39
4 運用業務統計	40
(1) 入館者統計	40
(2) 月別図書貸出統計	41
(3) 分野別図書貸出統計	42
(4) ベストリーダー	43
(5) 閉架書庫内図書月別利用統計	44
(6) 閉架書庫内雑誌月別利用統計	44
(7) 貸倉庫預入資料利用統計	45
(8) 貸倉庫資料利用請求冊数内訳	45
(9) 研究室別貸出図書統計	46
(10) 研究室別貸出雑誌統計	46
(11) 施設利用統計	47
(12) 貴重書室利用統計	47
(13) 3号館雑誌室・書庫利用統計	48
(14) 日曜・祝日図書館臨時開館入館者統計	49
5 参考業務統計	50
図書館間相互協力	50
6 AV資料等運用業務統計	51
(1) AVマイクロ資料利用統計	51
(2) AVホール利用統計	51
(3) AVゾーン利用者別統計	52
(4) マイクロ資料利用者別統計	52
(5) 保守点検等	52
7 図書館機械化の経緯と現状	53
(1) システム導入の経緯	53
(2) 現状	54
8 図書館施設概要	55
IV 組織	56
1 組織図	56
2 図書館職員一覧	57
V トピック	58
韓国大学図書館見学の報告	58
歴代図書館長	59
略史	59

はじめに

図書館長 木畑洋一

東日本大震災でさまざまな変則的事態が生じた前年と異なり、2012年度における成城大学図書館業務は、終始平穏な状況の中で行われた。

1993年をピークに減少傾向をたどってきた入館者数は、2010年度に上向きに転じていたが、11年度には大震災の影響で10年度を下回った。しかし12年度には上向き傾向が回復した。また館外貸出冊数も増加した。さまざまな点での電子化が進み、図書館に足を運ぶことだけが図書館利用というわけではなくなってきたのは事実であるが、利用者に頻繁に来てもらう図書館の姿が望ましいことには変わりはない。その点で、12年の趨勢が今後も継続していくことが期待される。

図書館としても、そのために種々の努力をしつつある。2012年度に準備を重ね、13年度に実施する事業として、積極的な学び（アクティブラーニング）の場としての性格を強めるための施設改修、学生により有効に図書館を利用してもらうための授業（「図書館活用法」）開設があげられるが、それらについての具体的説明は2013年版の年報で行うことになる。

2012年度に実施されたこととしては、まずOPACと図書館ホームページのリニューアルがあげられる。OPACの更新により、従来よりもスピーディで使い勝手のよい環境が整備され、ホームページについては、トップページでよく使われるものが分かりやすく配列された他、文献データページが使いやすくなるなどの改善が施された。

また、学生に自分たちは単なる利用者ではなく、図書館と一緒に作り上げている主体であるという意識をもってもらうために、新たに学生による選書ツアーを行った。三省堂書店の協力を得ての三省堂成城店での選書（6月）に11名の学生が参加、また東京ビッグサイトでの選書企画（7月）には3名の学生が参加した。重複本チェックなどを経て購入が決まった本は、9月末から10月半ばにかけて、選書した学生が書いたポップとともに特別コーナーで展示され、好評を博した。これは学生との協働の第一歩であり、これからさらにさまざまな可能性を追求していきたい。

10月には、成城大学における研究活動を発信していくための「成城リポジトリ」を、図書館が担当部局となって一般公開した。国立情報学研究所（NII）が提供するサービス（学術機関リポジトリ構築連携支援事業）に参加するもので、紀要類からはじまり、各種の研究報告書や博士論文などを公表していくための体制が整った。

このように図書館が取り組む仕事の範囲は、広がり多様化してきているが、そうした業務に取り組みながら、将来の図書館像を模索する作業もつづけられている。最近、新聞紙上などで、社会の中での図書館の新たな位置、役割についての議論が盛んに行われるようになっている。各大学での先行例にも学びながら、成城大学の教育・研究をさらにしっかりと支える図書館を作り上げていきたいと思っている。

I 概況

1 2012年度の図書館業務

(1) 図書館業務の概況

①人事・組織

- 専任職員は、4月当初、15名であった。
- 嘱託職員の更新をした。
- 4月より、3号館雑誌室の業務所管を運用課より総務課に変更するとともに、システムをVPN接続にして、3号館雑誌室で図書館システム(E-Cats Library)を業務上使用できる環境にした。
- 7月1日付で、整理課長が中学校事務長として異動し、後任に高等学校事務長が就任した。専任職員(整理課、運用課)および契約職員(運用課)の採用があった。また、整理課課長補佐の昇格があった。
- 運営委員会において「成城大学図書館事務分掌規程」の改訂をし、正式に総務課に届け出をした。

②図書館サービスの充実と多様化を推進

- 図書館オリジナルサイトHPの改訂をし、併せて、2012年版としてLibrary Guide(英文)の更新を行った。
- 全学共通教育科目「成城学園を知る」の特別聴講生の図書館利用に対応した。
- 三省堂書店と紀伊國屋書店の協力を得て選書ツアーを実施した。購入した図書はツアー参加学生の紹介文を添えて展示した。
- データベース講習会を全6回実施した。参加者を募るにあたって、昨年同様、就業力支援室、キャリア支援部の協力を得た。
- 文芸学部英文学科の要望を受けて、地下2階に「英語多読コーナー」を設けた。
- My Libraryによるリクエストの受付に問題があったため、利用者からの推薦図書という位置付けのサービスに変更した。

③資料の収集・データベース化・保管・廃棄

- 平成24年度私大助成で、グローバル研究センター購入資料「複数性社会構築の理論研究に関する図書一式」(『ラウトレッジ版世界システム分析ハンドブック』ほか全30点)の受入をした。
- 経済研究所の要望を受けて、研究所所蔵資料のうち約14,000冊のデータを3年から5年で遡及入力する計画に関して打合せを行った。
- 3階開架資料、約104,000冊を対象に蔵書点検を行った。
- 大学院生からの提案企画を受けて、成城大学所蔵資料「モーツァルト《レクイエム》初版譜」の展示と企画者の講演会「モーツァルト《レクイエム》初版譜にかかわる3つのエピソード」をAVホールにおいて行った。

④ 3号館書庫収蔵資料の管理・運営

- 空調設備改修後もカビの痕跡が確認されるため、管理課と情報共有しながら、3号館雑誌室・書庫運営委員会で対策を検討した。

⑤学外組織との相互協力の推進

- 「図書館総合展」出展の業務委託会社のパネルディスカッションに、運用課長をパネリストの一人として派遣した。

⑥図書館員の能力の向上

- 2011年度海外集合研修に参加した総務課員1名を、2012年度私立大学図書館協会・研究大会（8月31日）に報告者として派遣した。また、2012年度国際図書館協力シンポジウム「大学図書館における学習支援を考える」（主催：私立大学図書館協会）に参加させた。

⑦建物・備品の改修・補充関係

- 3号館雑誌室のブラインドを、部分開閉できるように改修した。
- 省エネ対策の一環で、図書館地下1階から4階事務室までの照明機器の取替工事を行った。その結果、電力消費量は全体で17%の削減になった。
- 年次計画にもとづいて、地下1階・閲覧機の照明器具を交換した。
- 4階事務室の電話機をビジネスフォンに変更した。
- AC-4系統空調設備（地下3階・機械室）の機器不良があり、修理した。
- 4号館冷房機が故障（循環機の故障）のため、管理課に対応を依頼した。
- 4階事務室・女子更衣室天井から、配水管腐食による漏水があり、修繕工事が行われた。
- 地下2階・ガラス天井の清掃時の水漏れ、地下1階グループ学習室4の雨漏り、2階・休憩室の雨漏りについて、管理課と業者による調査が行われた。その結果、ガラス天井（地下1階、地下2階）のパッキンをすべて取替えた。
- 館内放送（閉館放送）の音量ムラが発生しているため、管理課に調査を依頼した。
- 年次計画に沿って、電動集密書架（地下3階）の基盤交換を行った。

⑧学内他部署との協力・調整

- 機関リポジトリ開設に向けて、学部発行紀要の著作権の許諾に関して、法学部と調整を行った。
- 事務局総務課の研究業績管理ソフトを導入する計画を受けて、機関リポジトリに収載予定の研究業績データの連繫について情報交換した。

⑨危機管理その他

- 4月3日、悪天候により14時で業務終了となったため、新任教員（専任、非常勤）向けガイダンスを一部省略して実施した。
- 恒例の防災訓練（前期）に、館員を参加させた。
- 危機管理の一環で、4号館に非常放送設備が整備された。
- 危機管理の計画にもとづいて、図書館内外に防犯カメラ4台が設置された。
- 5月18日、17時20分頃、茨城県南部を震源とする震度4の地震発生。世田谷区は震度

2. 館内の被害はなく、利用者も落ち着いていたため、館内放送はしないことにした。
- 6月1日、17時50分頃地震。各フロアー、利用者の状況を確認し異常がなかったため館内放送はしなかった。
 - 7月3日、11時32分頃、千葉県を震源とした地震発生。東京震度3。①館内各フロアー確認、異常が無いこと。②このまま通常開館すること③何かあったら近くの職員に連絡することを館内放送した。
 - 11月24日、18時頃、震度4の地震発生、エレベータ3基とも停止した。学生、職員に怪我人は無く。本の落下等も無かった。
 - 12月7日、17時18分頃、三陸沖を震源とした地震が発生。東北・関東は震度5弱、太平洋側に津波警報が発せられた。図書館内の被害は無かったが、館内放送で注意を呼び掛けた。

(2) 総務課業務報告

①人員と担当

2012年4月より3号館雑誌室が総務課の管轄となった。人員は総務課長を含めて専任職員4名、契約職員1名、派遣職員1名、アルバイト職員3名で業務にあたり、雑誌担当の専任職員1名が2012年5月より出産休暇を取得したため、派遣職員1名で補充を行った。また、欠員となっていた雑誌室のアルバイト職員の補充を6月に行い、アルバイト職員は4名となった。

雑誌業務については専任職員1名が主担当として和雑誌を、契約職員1名が洋雑誌・電子資料をそれぞれ担当し、アルバイト職員1名が日々の受入作業を行った。この他、冊子体、電子ジャーナル、データベース等各種媒体の契約や書誌情報の管理、また、除籍作業などにも積極的に取り組んだ。

庶務・会計業務は派遣職員1名が担当し、日々の庶務業務は雑誌担当者とも連携しながら業務にあたった。

3号館雑誌室業務については専任職員1名が主担当として雑誌室関連の業務を統括し、アルバイト職員3名が交替でカウンター対応や配架業務、遡及作業、更に製本業務にあたった。この他、従来レファレンスカウンターと総務課が分業で行っていた他機関から依頼のあった文献複写についても、一括して全て雑誌室で対応することになった。

4月の人事異動でシステム担当が運用課から総務課所属となった。

②雑誌業務

a. 発注、受入、整理

2012年度は購入、編入合わせて2,600冊を受け入れた。また、2,887種の雑誌、紀要、新聞について受入作業を行った。いずれも図書館システムに所蔵登録を行い、バーコードラベル、無断持ち出し防止装置の装着後、閲覧係や研究室・資料室などへ提供した。

b. 除籍

除籍は資産扱いのもの262冊と資産外扱いのもの548冊を処理した。前年度の図書館

委員会での合意に基づき、重複資料や電子化が確認された紀要等については学部の了解を得ながら除籍を進めることとなり、書庫狭隘の解消に向けた作業が積極的に進められた。

c. 会計処理

2012年4月よりカレントチェックイン分についても図書館システムへの金額の入力を行い、会計係との連携を図った。

d. 業者によるガイダンスの実施

データベースや電子ジャーナルの使い方について、各業者によるガイダンスを前期と後期に実施した。いずれも図書館外の教室で開催し、7月は3回（就活関連2回、レポートの書き方1回）、後期は11月から12月にかけて3回（全て就活関連、うち1回は実際の紙面を使った新聞の読み方）実施した。各回ともキャリア支援部、就業力育成支援室と共催としたほか、先生方にもチラシの配布や宣伝活動にご協力いただき、多くの参加者を集めることができた。

③庶務業務

庶務担当は日常的に郵便物処理、書類の配付・回覧、各種学内提出書類、調査・報告書の作成などをおこなったほか、学園資料の収集と保管、廃棄などの作業も積極的に行った。

④会計業務

会計担当は日常的に支払依頼票起票、帳簿管理、書類内容チェック、前渡し金管理、現金収入管理や予算・決算書作成、伝票整理を行った。

伝票作成については従来より、図書館システム上の受入データ（図書・AVマイクロ資料）を活用していたが、今年度からは雑誌についても抽出・活用し、また、過年度の支払依頼票データも有効に活用することで、業務の省力化に努めた。更に、年度末からは伝票の様式を学園会計課の統一のフォーマットに変更し、2013年度からの本格導入に向け可能性を探った。

この他、原議書の起案等も従来同様に行った。

⑤システム管理業務

図書館システムE-Catsの安定稼働に努めると共に、メディアネットワークセンターとも連携した館内ネットワークの整備や学習用PCの導入サポートにあたった。

⑥3号館雑誌室業務

前年度までの運用課による業務を引き継ぐ形で、雑誌室利用者へのサービスと地下書庫の管理を行った。新たな業務としては製本業務、未遡及資料の図書館システムへの入力作業、文献複写業務などがあげられ、遡及作業については、地下書庫の未遡及資料について年度内で全て入力を完了した。このほか、地下書庫の環境対策については継続的に温湿度管理を行い、空気の循環を良くするための資料配置を工夫するなどの対応を行った。

a. 製本業務

図書館と各学部合わせて2,368冊の製本発注受入を行った。

b. 文献複写発送業務

処理件数698は件、枚数は5,202枚であった。

⑦設備機器保守管理業務

- a. 設備機器の保守管理
- b. 各種設備・機器の修理依頼
- c. 館内各所、旧館書庫内および3号館書庫での温湿度調査を続けた。
- d. 新任の職員や委託スタッフなどへ館内消火設備や避難誘導の指導を実施した。
- e. 全学で実施した防災訓練の際に、図書館地区隊として独自の防災訓練を実施した。

(3) 整理課業務報告

①人員と担当

今年度は、整理課長を含めて専任職員4名、契約職員4名、派遣職員2名、の10名体制でスタートした。業務分担は、課長1名、発注・受入3名（専任1名・契約1名・派遣1名）、和書整理3名（専任1名・契約2名）、洋書整理1名（専任1名）、AV・マイクロ資料1名（契約1名）、除籍1名（派遣1名）である。アルバイト職員は、洋書整理2名（実働時間数による人数は1名）、装備業務2名（実働時間数による人数は1.5名）である。

7月に整理課長が中学校事務室に異動となり、高校事務室から後任が着任した。また、前年度末で退職した専任職員の代替として、派遣職員が和書受入担当として着任した。7月に充当職員として、それまでの運用課契約職員が専任職員となり、発注・受入として配属されたが、派遣職員はその後も引き続き業務を遂行した。アルバイト職員のうち、洋書整理の1名はCD資料の遡及入力作業を担当し、装備業務の1名は2類（日本史）の分類番号付け替え作業も兼務した。

この他、2006年度以降に除籍した図書のN I Iへの所蔵登録の削除と再登録を、受入担当者、和書整理担当者、除籍担当者の3名で行い、完了させた。

和書整理の契約職員2名が1月と2月に退職した。

②発注・受入業務、除籍業務

a. 発注・受入業務

2012年度の受入冊数は、購入・寄贈を合わせて、和書11,667冊、洋書4,309冊であった。購入資料では、指導要領改正に伴い中学校の教科書とそれに対応した指導書の購入を行い、前年度文部科学省の教職課程実地視察の際に指摘を受けた指導書の充実を図った。寄贈資料では、元文芸学部教員の尾形侑氏蔵書601冊の受入登録を完了した。

b. 除籍業務

今年度の除籍総数は、2,546冊（和書2,457冊 洋書89冊）に留まった。主な除籍内容としては、旧短期大学部研究室貸出の図書1,068冊、追加基準が設けられたガイドブックコーナーの図書542冊、蔵書点検で発生した不明3回目の図書197冊、プレハブ倉庫に保管していた重複・汚損本282冊、などである。

③整理業務

a. 和書整理業務

今年度の整理冊数は、新規受入図書が9,062冊、遡及3,026冊、再整理1,885冊である。新規受入図書では、鈴木敬氏より寄贈を受けた中国関連図書803冊（内3冊は洋書）の整理が完了した。また、昨年度に引き続きプレハブ倉庫に保管していた旧分類和書の遡及作業を進めた。

b. 洋書整理業務

今年度の整理冊数は、新規受入図書が3,448冊、遡及2冊、再整理1,867冊である。昨年度に引き続き、経済研究所から委託された高垣文庫貴重書を再整理し、N I Iに1,313件の書誌・所蔵登録を行った。

また、新設した「英語多読コーナー」の資料の整理にあたっては、文芸学部英文学科の教員からの要望に添う形で、出版社ごと、レベルごとのタイトル順に並ぶように請求記号の取り方を工夫し、使用語数の表示やレベル別の色シール貼り付けなどの装備を行った。

④AV・マイクロ資料業務

今年度の新規受入・整理の合計点数は、1,344点である。おもな資料は、CD357点、DVD588点、Blu-ray89点、マイクロ資料240点である。

また、昨年度より開始した旧館保存室のクラシックCDの遡及入力点数は、3,278点であった。

この他、図書と登録番号が重なっていたカセットやレコードなどについて、登録番号の体系を見直し、かねてより保留となっていたカセットの遡及入力と再整理を行った。

更に、2012年度より除籍処理を開始した。今年度は、紛失や損傷による再生不能なソフトの14点（CD2点、DVD6点、カセットテープ6点）の除籍処理を行った。

(4) 運用課業務報告

①人員と構成

課員は課長を含めて専任職員7名、内訳は参考係2名・閲覧係4名（内1名は嘱託職員）。メインカウンター・AVカウンターは契約職員5名を中心として対応している。臨時職員は受付業務を2名が交替で、他に配架係として2名が週3～4日の交替勤務をしている。3号館雑誌室は4月より総務課に移管した。年度末退職の嘱託職員の後任として4月から6月まで派遣職員1名を採用し、その後7月に専任職員1名が採用された。契約職員が6月と9月に退職したため、それぞれ7月と10月に2名を採用した。夜間の時間帯は業務委託職員が受付1名・閲覧係2名・AV係1名で対応している。

②各カウンター業務

1) メインカウンター

a. 院生・教員用コピー機の入替について

地下3階コピー機をコニカミノルタのコピー機に入替え、院生・非常勤教員が専用カー

ドで2階および3号館雑誌室でもコピーできるようにした。

b. 交換留学生の大学院生対応について

中国からの交換留学生の中に派遣元の大学で大学院生身分の学生がいたため、本学での扱いを大学院生と同等とした。

c. 「成城学園を知る」聴講生の対応について

授業科目「成城学園を知る」を聴講する学園父母に対して聴講料を免除することになり、今年度は当該聴講生については入館のみとし、貸出をしないこととした。

d. 防犯カメラの設置について

館内に4カ所防犯カメラを設置した。

e. 蔵書点検について

3月に3階部分約104,649冊について蔵書点検を実施した。

f. 天井蛍光灯の交換について

省エネ対策として全館の天井蛍光灯を省エネタイプのものに交換した。

g. グループ学習室の椅子の交換

閲覧用椅子の予算がとれなかったため、管理課より16脚借用した椅子をグループ学習室3へ入れた。

2) レファレンスカウンター

a. 各種ガイダンス

4月の新入生ガイダンスにおいては、大学院生に対するガイダンスを担当した。

教員の要望により行う「ゼミガイダンス」は、32回実施し、参加者は482名であった。2011年度は27回実施・参加者371名であったので、大幅増となった。

b. NIIへの本学紀要データ登録

国立情報学研究所(NII)の学術コンテンツ登録システム(NII-ELS)により、本学紀要論文データの登録を行っている。この登録を行うことで、CiNii(NII論文情報ナビゲータ)上での論文データ検索および公開している本文PDFファイルへのアクセスが可能となる。さらに、2012年10月から公開された「成城大学リポジトリ」へのデータ登録(担当:総務課)も、NII-ELSへ登録したデータがベースとなっている。

2012年度より、NII-ELSへの登録作業は総務課で担当することになったが、業務の引き継ぎ・新担当者への研修が年度末近くになったこと、また、総作業量の多さを鑑み、レファレンスカウンターにおいても引き続き登録作業を行った。

2012年度(2012年4月~2013年3月)の新規登録論文数は194本であった。2013年3月末現在の総登録論文数は5,806本、登録対象紀要は29誌である。

なお、登録作業においては新規発行分のほか、既刊分の遡及入力も積極的に行っている。

c. 大型参考図書の移動

大型参考図書を配架しているコーナーに、MNCの学習用PCが増設されることになった。

当初、大型参考図書を吹き抜け下に移動させることを考えていたが、アクティブラーニング系施設設置に伴い、吹き抜け下は新刊雑誌コーナーとなることが決まった。さらに、2013年2月に入ってから、学習用PCの設置工事が2013年2月25日に始まるとの連絡を受け、早急に場所を明け渡さなければならないことがわかった。

そこで、

- ①大型参考図書は利用が少ないため、B3F書庫および旧館に配架変更する
- ②大型図書用の書見台4台は、1台を民俗学研究所に譲り、3台をB1Fに移設するという対応をとった。

3) AVカウンター

- a. 利用の少ないマイクロフィルムおよびマイクロフィッシュを貸し倉庫に預け入れた。
- b. コニカミノルタ製のマイクロリーダーを新しいものに買い換えた。

③祝日開館について

祝日授業のため4月30日・7月16日・9月22日・10月8日・11月23日・12月24日に通常開館をした。

④臨時開館について

試験期臨時開館を前期試験の7月22日・29日の日曜日および後期試験前の1月19日・20日のセンター試験日に実施した。

⑤開館時間の短縮・臨時閉館について

台風の影響により4月3日午後の開館時間を短縮し、14時で閉館した。そのため非常勤講師に対する図書館ガイダンスは中止することになった。

(5) 図書選定委員会報告

①委員

委員長1名、委員4名

②任期

2012年4月1日～2013年3月31日

③委員会の開催

定例で毎週火曜日の朝9時からの開催とし、2012年4月から2013年3月まで、計31回開催した。

④活動状況

- 1)従来同様に、出版案内・出版目録・新聞書評等を用いて、学生の利用を想定した資料選定をおこなった。見計らい資料は内容を確認し選定した。

2) 購入希望（リクエスト）資料

リクエストは、原則、委員会にて決定した。定例の委員会以外でも、必要に応じて、事務長が購入の可否を決定した。

学生や教職員からの「リクエストカード」による購入希望および館員からの推薦による購入希望を含めた今年度の承認数は以下のとおりである。

和書	432	（学生	201	大学院生	9	教職員	222）
洋書	45	（学生	16	大学院生	19	教職員	10）
A V資料	778	（学生	115	大学院生	3	教職員	660）

*単位は資料により異なる（冊・枚・本）

3) 主な選定資料

私大助成により下記の資料を購入、受入れた。

「複数性社会構築の理論研究に関する図書一式」

（「ラウトレッジ版世界システム分析ハンドブック」ほか全30点、59冊）

（6） 広報委員会報告

①委員

委員長1名、委員5名

②任期

2012年5月1日～2013年4月30日

③委員会の開催

2012年度は8回開催した。このほか、行事の企画および印刷発行物の製作状況などに
応じて、短時間の打ち合わせを何度か行った。

④活動内容

1) 各種刊行物の編集・発行・配布

「図書館暦」（和文、A4版、7月・10月・1月・4月発行）

第117号（2012年7月）～第120号（2013年4月）、全4号を刊行した。

各号の内容

第117号（2012年7月、6頁、2色刷、3,500部）

Encyclopædia Britannica：240年以上愛され続ける百科事典／金田 陽治
私立大学図書館協会海外集合（短期研修）研修報告 ～米国のラーニングコ
モンズと伝統的な大学の図書館を巡る～／杉本 正武

第118号（2012年10月、6頁、4色刷、2,000部）

選書ツアーに行ってきました！

第119号（2013年1月、4頁、4色刷、1,200部）

成城大学リポジトリの開設／新井 和之
選書ツアーで購入した図書を展示しました

第120号（2013年4月、4頁、2色刷、3,500部）

図書館でアクティブラーニング／木畑 洋一
全学共通教育科目「図書館活用法」について／緑川 雅之

「成城大学図書館案内」（和文、4色刷、年1回発行）

外来者（受験生、文化祭での来館等、外部からの見学者）向けに、図書館の概要、
特色、施設紹介、サービス案内、アクセス方法などをまとめたものである。今年度
は次年度の館内改修を見込んで、増刷はせずに在庫を配布することで対応した。

「成城大学図書館利用案内」（和文、A4版、カラー8頁、年1回発行）

図書館のフロアガイドとともに、サービス内容について解説したものである。今
年度作成分（2013年4月発行）は、前年度のものをベースに、説明文や写真を
入れ替える等の改訂を行った。印刷部数は1,500部である。

「Seijo University Library Guide」（和文、B5版、全12種、年1回発行）

各施設の使い方、各カウンターのサービス内容などを説明したリーフレットであ
る。サービス変更の部分などについて改訂した。

2) 文化祭一般公開

今年度は、広報委員会としての企画は行わなかったが、整理課により貴重書展示が行わ
れた。館内には、例年通り音楽を流した。

3) 新入生ガイダンス

2012年の新入生図書館ガイダンスは、2011年度の広報委員会が実施した。

例年通りのビデオ放映と館内ツアーの方式をとったが、今年度は6年ぶりにビデオ内容
を大幅に改訂した。平均出席率が65.1%と、3年前からの低迷が続いた状態となった。ケ
ルムスコットプレスに関連した貴重書展示が、整理課と協力して行われた。

今年度（2012年度）の委員会活動としては、2013年度の新入生ガイダンスを企
画・実施した。

4) 「図書館活用法」の宣伝

2013年度から新設される全学共通教育科目「図書館活用法」について、チラシの作成と配布を行い、受講者を多く獲得するために宣伝した。

(7) 書庫問題検討委員会報告

①委員

委員長1名、委員5名

②任期

2012年4月1日～2013年3月31日

③委員会の開催

委員会は開催しなかった。

④活動内容

1) 地下3階閉架資料の貸し倉庫預け入れについて(和書3カ年計画の1年目)

今年度から洋書と同様に2012年度～2014年度の3カ年計画で1979年以前の和書約7万冊を対象として資料選別を行うことになった。

2012年度は3門～9門の一部を対象に前期4回、後期4回計8回行い、合計26,952冊751箱を預け入れた。

2) マイクロ資料の貸し倉庫預け入れについて

地下3階配架の利用の少ないマイクロ資料180箱分を環境の良い専用の貸倉庫へ預け入れた。

3) 地下3階電動書架の基盤改修について

8月にB列第3ブロックを、次年度予算の前年執行として3月にB列第2ブロックの基盤改修工事を実施した。

4) 貸倉庫預入箱数

2012年度末までの総預入箱数(2013年3月末現在)

B1タイプ	893箱	B2タイプ	5,311箱
Cタイプ(大型)	23箱	TIMES	578冊
超大型本	108冊	マイクロフィルム	180箱
		合計	7,093箱

(8) システム委員会報告

①委員

委員長1名、委員6名

②任期

2012年4月1日～2013年3月31日

③委員会の開催

2012年度は2回(4月19日と10月16日)開催された。

④活動内容

2012年度は図書館システムのカスタマイズとして、次世代OPACを導入した。

次世代OPACの新機能は館内では概ね好評だったが、前のバージョンとの動作の違いで若干評価がわかれた。例えば、詳細画面が新しいウィンドウで表示されるようになったことについては、不便になったという意見と便利になったという意見の双方があった。

また、不具合も相当数出て、販売元のNECに別途改善要求を出した。

その他のカスタマイズについては10月15日までに終了した。

2013年度の予算については、My Libraryを学術認証フェデレーション(学認)に対応するカスタマイズを予算案として提出することが決まった。

(9) 資料保存修復委員会報告

①委員

委員長1名、委員4名

②任期

2012年4月1日～2013年3月31日

③委員会の開催

2012年度は2回開催した。(2012年10月15日・2013年3月1日)

④活動内容

1) ナトルプ文庫の脱酸処理について

今年度実施したナトルプ文庫の劣化調査報告を受け、旧館3層に保管されているナトルプ文庫の脱酸処理と補修作業を100周年記念事業(第2世紀プラン)の一環として予算要求することを確認した。その結果、作業を6年間に分割することで通常の臨時予算として事柄が承認されたことから、修復後の資料については本館地下3階書庫を配架先とし、一部の貴重資料や手稿類については貴重書室とすべき旨の要望を行った。

2) 貴重書・準貴重書の指定基準について

前年度に引き続き、貴重書関連の内規類の整備を行った。

3) 3号館地下書庫の環境対策について

空調機の更新から約1年が経過し、温湿度の状態がだいぶ安定してきたことを確認した。しかし、依然として風の流れが弱いことから、総務課雑誌室担当者が資料配置の工夫やサーキュレーターの増設などの対応を行っている。委員会としても引き続き、状況を見守ることを確認した。

4) その他

明治期等の初版本であっても、現行の貴重資料に関する基準に該当しないため、通常の書架に配架されている資料があることから、こうした資料の取扱いについて委員会内で意見交換を行い、今後更なる検討が必要である点を確認した。

(10) スチューデントアシスタントワーキンググループ報告

①委員

委員長1名、委員3名

②任期

2012年4月1日～2013年3月31日

③委員会の開催

2012年度は5回開催した。(2012年4月16日・4月23日・5月7日・6月28日・10月9日)

④活動内容

学生が興味を持ち、参加し易い選書ツアーを実施することになり、6月15日に三省堂書店成城店で、7月5日に東京ビッグサイトの国際ブックフェアで選書ツアーを行った。

参加者はそれぞれ三省堂書店成城支店が9名 国際ブックフェアが3名であった。

購入した資料は101冊で、夏期休暇中に学生に本を貸出し、POPを作成してもらった。

9月29日から10月19日まで図書館1階で展示を行った。期間中、学生の視点で選書された資料は注目も高く、借りてゆく利用者が多かった。

初めての試みのため、期間中7月6日・7月31日および展示終了日の10月19日に参加学生と懇談会を行い、選書ツアーの感想や展示方法、今後在学生在が自主的に図書館でどのような活動ができるかなどについて意見交換をした。

(11) 情報リテラシー教育ワーキンググループ報告

①委員

委員長1名、委員3名

②任期

2012年4月1日～2013年3月31日

③委員会の開催

2012年4月から2013年3月まで、計15回開催した。

④活動内容

以下の通り。

■第7回■ 2012年4月26日(木)

1. 全体会開催について

平成25年度開講に向けて、5月前半に全体会を開催し概要を館員へ説明する機会を設けることとした。

2. 受講者数と開講コマ数について

5月中旬に共通教育センター委員会で授業科目開講についての本格的な審議が開始されるにあたって、開講コマ数、受講者数制限について確認することとした。

3. その他

類似科目の聴講について検討した。

■全体会を開催■

1. 5月8日(火)

2. 5月28日(月)

■第8回■ 6月6日(水)

1. 全体会をうけて

2. 寄せられた主な意見の検討

3. 今後の予定について

■第9回■ 7月18日(水)

1. 科目開講の承認について

2. シラバス執筆と今後の日程について

3. 評価、アンケートについて

4. 第14・15回目の授業担当者について

■第10回■ 10月10日(水)

1. 開設科目群の位置づけについて
2. 授業概要レジュメの内容確認
 - ①講義内容の重複部分について
 - ②小テストについて
 - ③模擬授業の実施について
3. 今後の予定について

■第11～14回■ 10月18(木)・19(金)・23(火)・25日(木)

1. 「図書館活用法」各回講義内容についての検討
2. 今後の予定について

■第15回■ 12月3日(月)

1. 各回講義についての検討結果のまとめ
2. 今後の予定について

■第16回■ 2013年1月29日(火)

1. 模擬授業実施の実施について
2. 「図書館活用法」の受講対象者について

■第17回■ 2月20日(水)

1. これまでの模擬授業実施をふり返っての検討(前半)

■第18回■ 2012年3月6日(水)

1. これまでの模擬授業実施をふり返っての検討(後半)
2. その他
 - ①授業日当日に担当職員が授業を担当できなくなった場合について
 - ②出席確認を兼ねた小テストについて
 - ③定期試験について

■第19回■ 3月14日(木)

1. 模擬授業実施後の検討
2. アンケートの実施について

■第20回■ 3月15日(金)

1. 模擬授業実施後の再調整について
2. ツアー形式授業について

■第21回■ 3月21日(木)

1. 第11回目の授業についての検討

(12) アクティブラーニング実施委員会報告

①委員

委員長1名、副委員長1名、委員6名

②任期

2012年12月13日～2013年3月31日

③委員会開催

2012年度は11回開催した。(2012年12月13日、14日、17日、20日、
2013年1月10日、24日、2月1日、7日)
委員会とは別に丸善との打合わせを行った。

④活動内容

第2世紀プラン教育研究改革特別事業枠予算として申請をした、学習支援を目的とした図書館アクティブラーニング施設の改修事業が認められ、その実施のために本委員会が結成された。

予算申請が認められた事業計画について、改めて委員会として改修計画を検討して要件定義書を作成した。それに従って丸善と紀伊国屋の2社に対してアクティブラーニング施設改修のプランを1月中旬に提出してもらい、業者選定を行なった。

2月1日に両社による改修計画についてプレゼンテーションを行い、委員会でそれぞれの企画案を検討した結果、丸善の提案を採用することに決定した。

その後、丸善と具体的な改修内容の打ち合わせを行い、詳細な見積り書の提出を依頼し、工期の日程を確認した。

打合せの過程で、食事については館内に適した場所が見当たらないため禁止することとした。

また、新たにプレゼンテーションができるようなICT機器の設置と自動PC貸出ロッカーを設置することになった。

工期については夏期休暇期間中に実施をすることとした。

2 図書館相互利用

(1) 五大学図書館懇談会

2012年度第37回の懇談会は成蹊大学を幹事校として開催された。相互の図書館活動の協力を目的に、各図書館の抱えている問題について様々な意見交換がなされた。

2012年度五大学図書館懇談会（第37回）

日 時：2012（平成24）年11月30日（金） 15：20～17：20

会 場：成蹊大学 10号館2階大会議室

出席者：成城大学は図書館長ほか4名

〔講 演〕

「成蹊大学情報図書館の温故知新」 成蹊大学理工学部教授 渡邊一衛 前図書館長

〔懇談事項〕

1. 近況報告

施設の改修、機関リポジトリの公開、資料のデジタル化、危機管理関係、その他新たな取り組みについて各大学の近況報告があった。

2. 重点報告

- ①電子書籍導入状況について
- ②図書館の一般開放について
- ③図書館固有データベースのバックアップ体制について
- ④寄贈図書受入の状況について

3. 質疑応答

4. 四大学閲覧協定について

連絡経路を明確にするため、各館1名の実務担当者を置くことの提案があり了承された。

〔その他〕

1. 次年度開催校の確認

(2) 世田谷6大学コンソーシアム図書館相互利用専門委員会

2011年4月より始まった新しいサービス（学部学生の紹介状なしによる利用）は、期待されたとおり、増加の傾向が見られる

第12回世田谷6大学コンソーシアム図書館相互利用専門委員会

日 時：2012（平成24）年11月9日（金） 15：00～18：30

会 場：駒澤大学 図書館4階AVホール

参加者：成城大学は図書館長ほか4名

〔協議事項〕

特になし

〔講 演〕

- ・講 師：長谷川 均（国土舘大学地理・環境専攻教授）
- ・テーマ：「沖縄の海—なぜ珊瑚礁は死んでいくのか—」

〔その他〕

情報交換

(3) 四大学図書館相互利用実績

①入館者統計 (2012年4月～2013年3月)

受入館 所属大学		学習院	成蹊	成城	武蔵	所属合計
学習院	教職員	/	0	4	0	231
	学生		80	92	55	
成蹊	教職員	100	/	2	7	150
	学生			36	5	
成城	教職員	70	1	/	3	100
	学生		19		7	
武蔵	教職員	85	7	6	/	158
	学生		25	35		
小計	教職員	255	8	12	10	639
	学生		124	163	67	
受入合計		255	132	175	77	639

*学習院大学は2005年度から入館システムを変更した。

このため教職員・学生の区別が不可能となった。

②貸出統計 (2012年4月～2013年3月)

受入館 所属大学		学習院	成蹊	成城	武蔵	合計
学習院	登録者数	/	9	8	15	32
	貸出冊数		28	35	33	96
成蹊	登録者数	14	/	6	4	24
	貸出冊数	52		19	11	82
成城	登録者数	11	5	/	3	19
	貸出冊数	87	6		9	102
武蔵	登録者数	15	11	5	/	31
	貸出冊数	72	17	7		96
合計	登録者数	40	25	19	22	106
	貸出冊数	211	51	61	53	376

(4) 世田谷6大学図書館相互利用実績

入館者統計(2012年4月～2013年3月)

利用先 所属大学	国士舘大学			駒澤大学			昭和女子大学			成城大学			東京都市大学			東京農業大学			所属者数 合計		
	教員	院生	学部生	教員	院生	学部生	教員	院生	学部生	教員	院生	学部生	教員	院生	学部生	教員	院生	学部生	教員	院生	学部生
国士舘大学	/			0	12	14	1	2	1	3		29	0	0	1	0	0	4	4	14	49
				計 26			計 4			計 32			計 1			計 4			計 67		
駒澤大学	2	6	76	/			4	2	18	0		60	0	1	33	0	0	6	6	9	193
	計 84						計 24			計 60			計 34			計 6			計 208		
昭和女子大学	1	0	14	3	9	56	/			0		2	0	0	5	1	0	7	5	9	84
	計 15			計 68						計 2			計 5			計 8			計 98		
成城大学	0	1	6	4	2	2	0	0	1	/			0	0	0	2	0	2	6	3	11
	計 7			計 8			計 1						計 0			計 4			計 20		
東京都市大学	0	0	12	0	0	1	0	2	0	0		2	/			0	0	12	0	2	27
	計 12			計 1			計 2			計 2						計 12			計 29		
東京農業大学	3	0	12	2	0	1	3	1	1	1		25	0	0	24	/			9	1	63
	計 15			計 3			計 5			計 26			計 24						計 73		
受入数合計	6	7	120	9	23	74	8	7	21	4	0	118	0	1	63	3	0	31	30	38	427
	計 133			計 106			計 36			計 122			計 64			計 34			計 495		

摘要1. 成城大学は、院生と学部生の区別はしていない。

Ⅱ 2012年度の委員会報告

1 図書館委員会報告

■第1回■ 2012年6月5日(火)

<報告事項>

2011年度業務概要／図書館予算・決算報告／2012年度貸倉庫新規預け入れについて／
新入生ガイダンス報告／前期試験期の日曜祝日臨時開館、並びに開館時間延長について／専任
教員貸出資料の年度末確認作業について／成城大学リポジトリについて／3号館雑誌室の時間
外利用について／SAワーキンググループ主催の選書ツアーについて／2013年度開設予定
の「図書館活用法」について

<審議事項>

共通図書費について／学習図書費の配分について

<その他>

100周年記念事業に関連して／成城大学図書館年報の電子化について／退職教員の資料寄贈
について

■第2回■ 2012年7月17日(火)

<報告事項>

2012年度夏期休暇前後の図書館スケジュールについて／データベースセミナーについて／
2012年度貸倉庫新規預け入れについて／電子化された紀要の取扱いについて／リサイクル
雑誌の取扱いについて／選書ツアーについて／閲覧室の照明工事について／次世代OPACに
ついて

<審議事項>

2012年度大学共通図書費について

■第3回■ 2012年11月20日(火)

<報告事項>

2013(平成25)年度図書館概算要求案について／大学共通図書費の執行状況について／
学習図書費の執行状況について／雑誌定期継続購入の新規・中止リストについて／定期試験期
の臨時開館について／本年度貸倉庫新規預け入れ作業について／データベースセミナーについ
て／成城大学リポジトリについて／電子化された紀要の取扱いについて／2013年度開設予

定の「図書館活用法」について／ラーニングcommonsのための改修案について／その他 ① 選書ツアーの資料展示について ② 閲覧室の照明工事について

<審議事項>

学習図書費による電子資料（データベース等）の購入について（案）

<その他>

本学教員による著者等への寄贈依頼について／冬休み期間中の開館について

■第4回■ 2013年2月19日（火）

<報告事項>

2013（平成25）年度図書館予算について／2012年度学習図書費の執行状況について／2013年1月19日、20日の試験期の臨時開館について／2012年度ガイダンスの実施状況及びデータベースセミナーについて／2012年度貸倉庫新規預け入れ作業及び2013年度預け入れ予定について／2013年度開設の「図書館活用法」について／第2世紀プラン教育研究改革特別事業枠予算によるラーニングcommons施設（本館、3号館雑誌室）の設置について／成城大学リポジトリについて／年度末から新年度にかけての各種スケジュールについて／その他 ① 学生から図書館に対する各種提案について ② リクエスト制度について

<審議事項>

学習図書費による電子資料（データベース等）の購入について（案）

<その他>

専任教員貸出資料の年度末確認作業のお願いについて／図書館のスタッフの異動について／委員からの要望

2 運営会報告

■第1回■ 2012年4月3日（火）

新年度の各委員会メンバーについて／事務分掌規定について／館内人事について／私大図協研究分科会・研修分科会について／NII教育研修事業への参加について／除籍資料の再利用について／展示ケースについて／機関リポジトリについて／図書館年報について／3号館とのネットワーク接続について／節電について／図書館新任職員の非常時対応の研修について／開講期間中の変則勤務について／図書館ホームページの改訂について／小口現金について／利用者からの問い合わせについて／専任教員の「貸出資料リスト」確認について／木畑館長からの提案について

■第2回■ 2012年4月11日（水）

図書館委員会の開催日程と議事次第について／ガイダンス出席状況について／指宿先生の「法情報学」聴講について／MNCとの今後の打ち合わせについて／2012年東京国際ブックフ

ェアーについて／明治大学和泉校舎図書館新築披露の案内／残業時の待機場所について／火報盤が作動した場合の対応について／節電対応／雑誌室のブックスキナーの利用について／ビジネスフォンについて／キッチン当番について／N I I 共用リポジトリについて／「ケルムスコットプレス」刊本の展示について／リサイクル図書の延長について／「成城学園を知る」聴講生について／蔵書点検について／書庫問題について／映研のAVホールの利用について／専任教員の「貸出資料リスト」確認について

■第3回■ 2012年4月16日（月）

寄贈図書に対する、浙江工商大学（中国）からの受領書について／除籍資料の搬出について／明治大学和泉新図書館の見学について／全学共通科目「成城学園を知る」の聴講について／非常時対応の説明について／リポジトリ小委員会について／SAについて／政策委員会からの報告／「学びの森」受講生への貸出について

■第4回■ 2012年4月24日（火）

西洋古典資料保存講習会の案内について／クレジットカード利用による個人研究費予算等の執行について／書庫問題検討委員会の検討事項について／N I I セルフラーニングについてについて／登録番号の重複について／共通教育研究センター図書費について／同窓会事務職員の図書館利用について／専任教員の資料紛失について／学生による選書について／半期科目担当の非常勤講師の図書館利用について／学生支援連絡会からの依頼について／大学院ガイダンスについて／貸倉庫預け入れのための資料選別について／教育用PCについて

■第5回■ 2012年4月30日（月）

3号館雑誌室について／情報リテラシー教育について／2010年度図書館年報について／法学部専任教員の3号館雑誌室の時間外利用について／明治大学和泉校舎新図書館の見学について／新規紀要の受入について／雑誌の会計処理について／西洋古典資料保存講習会の参加者について／N I I の研修参加者について／機関リポジトリについて／経済研究所の資料の遡及入力について／CPの出勤態勢について／地下3階資料の選別のための作業依頼について／専任教員に貸出した資料の紛失について／SAワーキンググループについて／梨花女子大学図書館について

■第6回■ 2012年5月7日（月）

電子書籍の関連の講演会について／情報教育リテラシー教育について／リサイクル図書の処理について／図書館委員会日程について／図書予算の配分について／電話機の入替について／「成城学園を知る」聴講生証の有効期限について／LC資料の取り寄せについて／選書参加者の募集について

■第7回■ 2012年5月15日（火）

私立大学図書館協会東地区部会総会について／著作権講習会について／五大学図書館懇談会の日程について／研究業績管理ソフトのデモについて／文化祭委員について／加藤一郎先生寄贈本のプレハブへの移動について／N I I セルフラーニングについて／自衛消防隊図書館地区隊の担当者について／図書館委員会について／経済研究所資料の遡及入力について／AV資料の登録番号について（別紙参照）／「選書ツアー」募集の告知について／利用者の声について／

ホームページの英文案内について

■第8回■ 2012年5月21日(月)

各種研修会について/ホームページの英文案内について/「利用者の声」への回答について/照明器具の交換について/派遣職員の採用について/電話機の交換について/4号館書庫の掃除について/4階コピー機の入替について/ILL関連の会計処理について/リサイクル図書の再利用について/管理課からの椅子の借用について/「選書ツアー」の募集経過について

■第9回■ 2012年5月28日(月)

入試広報部からの業務依頼について/私立大学図書館協会総会・研究大会について/図書館内の業務分掌規程について/柳田国男自筆原稿の購入について/ナトルプ文庫の脱酸処理用について/電話機の交換について/情報検索ガイダンスについて/機関リポジトリの今後の運営について/研究者用コピー機入替後の状況について/劣化資料の修理製本について/スライド資料の除籍について/落研のAVホールの利用について/「選書ツアー」の募集経過について

■第10回■ 2012年6月4日(月)

メディアネットワークセンター研究会について/ホームページLibrary Guide(英文)の更新について/図書館委員会の資料の確認について/データベースガイダンスについて/電子化された紀要の取り扱いについて/文芸学部共用研究室設置のスキャナーの利用について/経済研究所蔵書の遡及入力について/図書館内の業務分掌規程について/落語研研究会のAVホールの利用について/「選書ツアー」の募集経過について

■第11回■ 2012年6月11日(月)

情報検索ガイドについて/「図書館活用法」の今後の進め方について/トイレの照明について/AVホールの外階段の利用について/貸倉庫預け入れ資料の搬出について/第2回図書館委員会の日程調整について/前期DB講習会について/夏期休暇中の作業予定について/電子化された紀要の取り扱いについて/経済研究所資料の遡及について/「成城大学リポジトリ」への紀要論文の登録について/利用者の声について/「選書ツアー」の募集経過について/図書館事務分掌規程について

■第12回■ 2012年6月20日(水)

防災訓練について/盗難について/「図書館活用法」の今後の進め方について/危機管理について/図書館事務分掌規程について/検索上の注意について/加藤一郎先生の蔵書について/日経写真ニュースの館内掲示について/第2回図書館委員会の日程調整について/前期DB講習会について/丸善E-BOOKSライブラリーのデモについて/「成城大学リポジトリ」と業績管理ソフトの連携について/経済研究所資料の目録作成支援について/小田切先生からの預かり図書について/選書ツアーの実施について/利用者の声について/私立大学図書館協会総会・研究大会について

■第13回■ 2012年6月25日(月)

次長・事務長会議(6月21日)報告/7月1日からの人事について/照明器具の交換の試験

工事について／夏期休暇中の工事予定について／前期DB講習会について／新人職員の研修について／図書館事務分掌規程について／夏期休暇期間の出勤について／「成城大学リポジトリ」へのデータ提供について／利用者の声について／選書ツアー参加者の懇談会について

■第14回■ 2012年7月2日（月）

図書館事務分掌規程の改正について／第1回図書館委員会議事録の訂正について／除籍資料の結果報告について／歓送迎会について／「成城大学リポジトリ」へのデータ提供について／「WEKO」の研修について／運用課の業務体制について／夏期休暇中の勤務態勢について／緊急連絡網の訂正について／節電対策について／「選書ツアー」参加者が選んだ資料について／利用者の声について

■第15回■ 2012年7月10日（火）

自動販売機について／中期計画について／防災訓練について／3号館雑誌室の夏期休暇中の開館日程について／加藤一郎先生の蔵書について／学長候補者選考に係る職員代表者の選出について／4階コピー機の入れ替えについて／成城大学リポジトリについて／夏期休暇中の工事予定について／次世代OPACについて／雑誌のリサイクルについて／緊急連絡網について／私大助成購入資料について／「選書ツアー」参加者の懇談会について／教職関係資料の除籍について／父母の会について／ドイツ文学コレクションについて／マイクロ資料の貸倉庫預け入れについて／世田谷6大学コンソーシアム関係資料について／学習図書費の取り扱いについて／嘱託職員の利用者カードにおける取り扱いについて

■第16回■ 2012年7月16日（月）

情報リテラシー教育について／図書館年報について／全体会について／防災訓練について／文化祭の教職員コーナーについて／照明工事について／書庫問題検討委員会の検討事項について／図書館委員会について／父母の会について

■第17回■ 2012年7月26日（木）

ガイドブック資料の除籍基準について／「図書館活用法」について／6大学コンソーシアム相互利用条件一覧について／学長とランチミーティング／私立大学図書館協会の海外集合研修について／防災訓練について／成城大学リポジトリについて／データベース講習会のアンケートについて／『図書館年報』（第13号）について／ナトルプ文庫の資料状態調査について／文芸学部資料室の除籍資料について／「選書ツアー」購入の資料について／利用者の声について／事務部局の中期計画の作成について

■第18回■ 2011年7月29日（金）

利用者連絡用メーリングリスト「aluniv」について／私立大学図書館協会からの各種研修について／プレハブに運び入れた資料について／開講期間に開催される入試相談会の時間外への対応について／外国人交換留学生の図書館ガイダンスについて／貴重書の大学院生への館外貸出について／図書館総合展におけるパネルディスカッション参加について／予算申請について／委託業務時間の残業当番について／教育用PCの設置場所について／3号館雑誌室の活用について／次長事務長会議報告／10月1日からの新人研修について／照明工事終了後の節電対応について／成城大学リポジトリについて／6大学コンソーシアム会議の日程について／防災

訓練について／委託職員の図書館利用について／博士論文の表紙について／利用者の声について／「図書館活用法」担当者の講義概要の提出について／ナトルプ文庫の劣化調査について

■第19回■ 2012年10月1日（月）

人事異動に伴う館内の各種人員表の更新について／台風17号による緊急連絡について／防災訓練実施後の反省について／総務課・雑誌関係の報告について／中学校非常勤教員からの貴重書貸出の要望について／選書ツアー購入資料の展示について

■第20回■ 2012年10月9日（火）

ラーニングcommonsについて／来年度予算について／経済研究所所蔵資料の遡及入力について／博士論文の製本について／図書館委員会の次回日程について／地下2階周辺の蚊の発生について／紀伊國屋書店のKプラトンについて／成城大学リポジトリについて／文化祭について／館内PCの設置場所について／「図書館活用法」のカリキュラム上の位置付けについて／交換留学生の特別利用について／利用者の声について

■第21回■ 2012年10月15日（月）

情報リテラシー教育WG報告／交換留学生の特別利用について／来年度予算のヒアリング日程について／武蔵大学のMCV (Musashi Communication Village) について／プレハブ資料の廃棄について／多読用英文資料の購入について／世田谷6大学の図書館相互利用専門委員会について／照明設備交換による節電効果について／図書館委員会の次回日程について／大学院生のコピーカードについて／後期データベースガイダンスについて／製本費の値上げについて／資料保存修復委員会報告／成城大学リポジトリについて／3号館雑誌室での教員対応について／経済研究所所蔵資料の遡及入力について／博士論文の製本について／館内PCの設置場所について／選書ツアー購入資料の展示について／文化祭期間中の出勤体制について

■第22回■ 2012年10月23日（火）

学習図書費の使途について／システム委員会報告／PC教室でのID取得について／「成城学園を知る」聴講生の取り扱いについて／100周年記念事業としての図書館の中長期計画について／五大学図書館懇談会について／ラーニングcommonsについて／来年度予算について／文化祭期間中の業務担当について／書庫問題委員会報告／博士論文の製本について／選書ツアー購入資料展示の後片付けと茶話会について

■第23回■ 2012年10月29日（月）

丸善提案のラーニングcommons改修案について／ナトルプ文庫の補修について／「図書館活用法」について／リポジトリ小委員会／後期データベースガイダンスについて／照明工事の完了について／整理課アルバイトの席替えについて／学外者のインターネットの利用について／コミカミノルタのコピーカードについて／図書館の地域開放について

■第24回■ 2012年11月7日（水）

3号館雑誌室・書庫運営委員会について／五大学図書館懇談会アンケートについて／大学院生の展示について／テレビ番組からの撮影依頼について／オンラインジャーナルおよびデータベースの購入基準について／後期データベースガイダンスについて／成城大学リポジトリについ

て／図書館委員会資料について／来年度予算について

■第25回■ 2012年11月19日（月）

「図書館活用法」について／除却資料について／地下3階未配架資料の配架について／科研費の募集について／「文献集めのための情報検索ガイド」について／図書館総合展について／図書館年報の印刷について／整理整頓について／蛍光灯の工事について／大学図書館コンソーシアム連合の会費について／ラーニングcommonsについて／利用者の声

■第26回■ 2012年11月27日（火）

予算の優先順位について／中長期計画について／「図書館活用法」について／図書館総合展について／11月24日（土）残業時の地震について／図書館委員会議事録の送付について／大学院生の展示について／利用者の声／ステューデントアシスタントについて

■第27回■ 2012年12月5日（水）

卒業アルバムの撮影について／オリエンテーションの日程について／リクエストカードの処理について／多読・多聴用資料について／次長・事務長会議からの報告／裁断機の配置について／緊急時に係る費用について／職員向けデータベース講習会について／図書館利用に関する卒業資格の確認について／バリアフリー実施委員会について／AVホールの利用について／事務局長からの提案について

■第28回■ 2012年12月10日（月）

旧館6層の資料について／入試業務の依頼について／リクエストカードの受付処理について／第2世紀プラン事業計画について／照明工事について／職員向けデータベース講習会について／大学院生の展示について／修士論文等の閲覧・複写許諾について／シラバスの原稿について

■第29回■ 2012年12月18日（火）

客員教授の図書館利用について／第2世紀プラン事業計画について／書架サインについて／データベース講習会について／国立国会図書館からの依頼について／廃棄雑誌のリサイクルについて／カレンダーの配付について／3号館雑誌室書庫の打ち合わせ／運用課職員の病欠について

■第30回■ 2013年1月7日（月）

東京都図書館協会の研修について／データベース講習会について／廃棄雑誌のリサイクルについて／地下2階の漏水調査について／その他の館内設備の不具合について／3号館雑誌室書庫の空調について／新任人事について／大学院生の講演会について／職員の病欠欠勤について／アクティブラーニング実施検討委員会について／学部生からの展示企画について／利用者の声

■第31回■ 2013年1月15日（火）

「成城学園を知る」聴講生の取り扱いについて／My Libraryによるリクエストの受付について／図書館委員会の日程について／職員の退職について／アクティブラーニング実施検討委員会について

■第32回■ 2013年1月17日(木)

第2世紀プランの予算について/退職教員からの短大資料の閲覧について/図書館委員会の開催について/平成26年度の学年暦について/図書館の中長期計画について

■第33回■ 2013年1月21日(月)

アルバイトのメールアドレスについて/沢柳政太郎先生のDVDについて/第2世紀プランの予算について/図書館委員会の議事次第について/放送設備の点検について/退職職員について/交換留学生の学生証について/各種保守点検について/「学生のための資料・文献の探し方」の作成について/蔵書点検の予定/貴重書室の再配架について/学年末定期試験期間中の臨時開館の入館者数について/「選書ツアー」参加学生の次年度企画について

■第34回■ 2013年1月29日(火)

契約職員の選考について/「図書館活用法」の受講対象者について/研修分科会の募集について/ナトルプ文庫の修復費について/E-bookの取り扱いについて/データベース購入費の取り扱いについて/レファレンスカウンターでの現金の取り扱いについて/第2世紀プランの図書館委員会委員へのお知らせ/各種工事について/ナトルプ文庫の修復について/2014年度学年暦検討委員会について/職員の欠勤について/「図書館活用法」の模擬授業について

■第35回■ 2013年2月4日(月)

卒業生向けアンケートについて/立教大学新図書館の見学について/卒業式の業務担当について/「図書館活用法」の模擬授業について/MNC管轄の学習用PCの入替について/推薦入学予定者の図書館利用について/入試期間中の出勤者について/次回全体会の日程について/世田谷区との地域連携について/粗大ゴミの回収について/グループ学習室4の漏水防止工事について/アクティブラーニング委員会報告

■第36回■ 2013年2月14日(木)

「図書館活用法」模擬授業の日程変更について/グローバル研究センター購入資料について/立教大学新図書館の見学について/卒業パーティーの出席者について/春休みの開館時間の延長について/図書館委員会資料の確認/蔵書点検について/アクティブラーニング実施検討委員会の答申について/図書館の地域開放について/2014年度の新入生ガイダンスについて

■第37回■ 2013年2月19日(火)

図書館委員会(第4回)資料の確認について/卒業生へのアンケートについて/非常勤講師配付資料について/立教大学新図書館の見学について/「学習用PC」の名称について/地下2階奥のガラスの天井の漏水防止工事について/2門の請求記号の変更について

■第38回■ 2013年2月26日(火)

書見台について/第2世紀プラン特別事業について/My Libraryでのリクエストの受付について/立教大学新図書館の見学について/企画広報部からの広報誌用資料の借用について/アクティブラーニング実施検討委員会の今後について/各種工事予定について/放送設備の更新について/職員の復職について/媒体がハードディスクドライブのAV資料について/

図書館の地域開放について／2門の分類請求記号の変更について／5月2日（金）の調整休日について／図書館委員からの要望について

■第39■ 2013年3月7日（木）

第2世紀プラン特別事業に関して／貸出用PCについて／アクティブラーニング実施検討委員会と選定業者との打ち合わせについて／「図書館活用法」の模擬授業について／3号館雑誌室の利用について／中長期計画について／図書館の貴重書の展示について／地下3階電動書架基盤改修工事について／職員の欠勤について／資料の配架変更について／キャンベラ大学図書館について

■第40回■ 2013年3月14日（木）

東京都市大学他の見学について／アクティブラーニング施設改修の学内打ち合わせについて／入学予定者への発送書類の袋詰め作業について／図書館の中長期計画について／会計監査について／機密文書の廃棄について／固定資産の報告について／冷暖房の切り替えについて／図書館の地域開放について／非常勤講師からの教科書購入の問い合わせについて／英語多読資料の整理と配架について／立教大学新図書館の見学について／「成城学園を知る」の聴講生について／博士論文の取り扱いについて／他大学図書館の施設状況について

■第41回■ 2013年3月22日（木）

「図書館活用法」の小テストについて／アクティブラーニング施設改修の学内打ち合わせについて／冷暖房の切り替えについて／MNCのIDの確認について／3号館雑誌室・書庫利用便覧について／3号館雑誌室の遡及入力について／3号館雑誌室のブックスキャナーの利用について／4月採用職員の研修について／貴重書室内の資料の確認および配架先について／各学部担当者との打ち合わせについて／リサイクル図書について／英語多読資料コーナーの名称について／図書館の地域開放について／バリアフリー実施委員会の報告について／図書館の中長期計画について／新年度館内各委員会の委員について／学習図書費によるDB、OLJの購入について／「情報検索ガイド」について

3 3号館雑誌室・書庫運営委員会報告

■第1回■ 2012年5月10日(木)

<報告事項>

雑誌室利用状況(2011年度)について/空調工事終了後の3号館雑誌室書庫の状況について/3号館雑誌室の所管部署の変更について/3号館雑誌室の休日・夜間利用希望者への対応について

■第2回■ 2012年7月

<報告事項>空調工事終了後の3号館書庫の状況について

<審議事項>2012年度夏期休暇中の雑誌室開室予定について

■第3回■ 2012年11月13日(火)

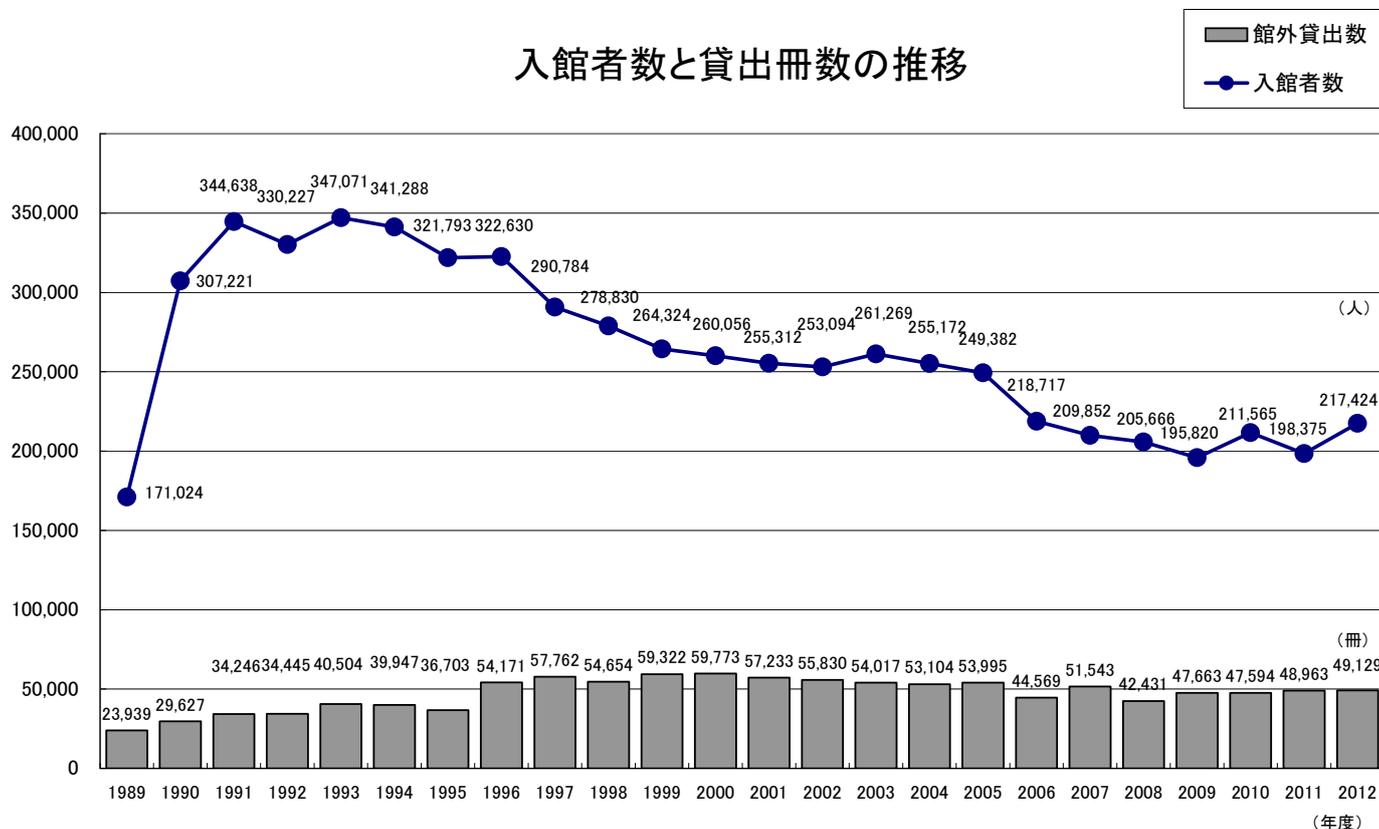
<報告事項>書庫のカビ発生状況と今後の対応について

<審議事項>雑誌室閲覧スペースの改修について

Ⅲ 2012年度の図書館年次統計

1 現況

(1) 利用状況



(2) 所蔵資料数

○図書	和洋図書	704,508 冊	(2012年度 増加数	15,917 冊)
			(2012年度 除籍数	2,546 冊)
○雑誌	雑誌 (バックナンバー)	136,838 冊	(2012年度 増加数	2,600 冊)
			(2012年度 除籍数	810 冊)
○AV資料	CD	22,350 枚	(2012年度 増加数	357 枚)
	LD	5,062 枚	(2012年度 増加数	0 枚)
	ビデオテープ	7,040 巻	(2012年度 増加数	0 巻)
	DVD・Blu-ray	12,879 枚	(2012年度 増加数	677 枚)
	レコード	7,988 枚	(2012年度 増加数	0 枚)
	カセットテープ	2,458 本	(2012年度 増加数	0 本)
○特殊資料	CD-ROM・DVD-ROM	2,441 枚	(2012年度 増加数	62 枚)
	マイクロ資料	28,664 点	(2012年度 増加数	240 点)

2 受入報告

(1) 図書受入報告

(2012)

	和 書		洋 書		小 計	
	冊数	金額	冊数	金額	冊数	金額
図書	1,847	20,610,734	2,364	40,649,422	4,211	61,260,156
資産外図書	2,465	12,515,165	1,081	11,120,725	3,546	23,635,890
学習図書	5,275	16,459,884	595	1,524,824	5,870	17,984,708
私大助成	0	0	59	1,000,000	59	1,000,000
寄贈	2,063	2,063,000	206	412,000	2,269	2,475,000
編入	17	22,660	4	10,883	21	33,543
合計	11,667	51,671,443	4,309	54,717,854	15,976	106,389,297

除籍報告

	和 書		洋 書		小 計	
	冊数	金額	冊数	金額	冊数	金額
図書	1,450	8,037,830	47	929,441	1,497	8,967,271
資産外図書	205	—	20	—	225	—
学習図書	534	—	6	—	540	—
私大助成	0	0	0	0	0	0
寄贈	217	219,239	16	32,000	233	251,239
編入	51	—	0	—	51	—
合計	2,457	8,257,069	89	961,441	2,546	9,218,510

※2010年度までは、資産外図書、学習図書、編入の金額を表示していたが、冊数に対応する金額ではないため、2011年度より金額欄を — と表示する。

(2) 雑誌受入報告

(2012)

	和 雑 誌		洋 雑 誌		小 計	
	冊数	金額	冊数	金額	冊数	金額
購入 バックナンバー	130	2,896,752	102	2,442,552	232	5,339,304
製本編入	1,360	2,244,000	1,008	1,663,200	2,368	3,907,200
私大助成	0	0	0	0	0	0
合 計	1,490	5,140,752	1,110	4,105,752	2,600	9,246,504

購入[資産外]	—	19,390,053	—	63,719,724	—	83,109,777
その他の編入(発見)	0	—	0	—	0	—
その他の編入(移管)	0	—	4	—	4	—
その他の編入(弁償)	0	0	0	0	0	0
寄贈	0	—	0	—	0	—

除籍報告

	和 雑 誌		洋 雑 誌		小 計	
	冊数	金額	冊数	金額	冊数	金額
購入 バックナンバー	60	888,079	90	892,023	150	1,780,102
製本編入(H.4以降)	90	150,694	22	37,892	112	188,586
私大助成	0	0	0	0	0	0
小 計	150	1,038,773	112	929,915	262	1,968,688

製本編入(H.3以前)	331	—	217	—	548	—
その他の編入(発見)	0	—	0	—	0	—
その他の編入(移管)	0	—	0	—	0	—
その他の編入(弁償)	0	0	0	0	0	0
購入[資産外]	0	0	0	0	0	0
寄贈	0	—	0	—	0	—

(3) AV・マイクロ受入報告

(2012)

	資産		資産外		学習図書		寄贈	編入	合計	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	数量		
マイクロリール	158	4,133,970	0	0	69	1,085,730	0	0	227	
マイクロフィッシュ	13	978,000	0	0	0	0	0	0	13	
マイクロリール	私大助成	0	0						0	
マイクロフィッシュ	私大助成	0	0						0	
マイクロ 小計	171	5,111,970	0	0	69	1,085,730	0	0	240	
CD-ROM	私大助成	0	0						0	
DVD-ROM	私大助成	0	0						0	
HDD	私大助成	8	9,520,000						8	
CD		0	0	32	12,924	322	553,137	0	3	357
カセット		0	0	0	0	0	0	0	0	0
ビデオ		0	0	0	0	0	0	0	0	0
LD		0	0	0	0	0	0	0	0	0
DVD		0	0	48	881,378	538	5,645,324	2	0	588
Blu-ray		0	0	0	0	89	427,778	0	0	89
レコード		0	0	0	0	0	0	0	0	0
フィルム		0	0	0	0	0	0	0	0	0
スライド		0	0	0	0	0	0	0	0	0
CD-ROM		0	0	46	2,077,048	1	8,977	3	0	50
DVD-ROM		2	548,100	10	1,251,779	0	0	0	0	12
マイクロ以外 小計	10	10,068,100	136	4,223,129	950	6,635,216	5	3	1,104	
合計	181	15,180,070	136	4,223,129	1,019	7,720,946	5	3	1,344	

除籍報告

媒体	資産外		学習図書		寄贈		合計	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額
CD	0	0	1	1,214	1	0	2	1,214
DVD	3	5,308	3	9,147	0	0	6	14,455
カセット	6	15,530	0	0	0	0	6	15,530
合計	9	20,838	4	10,361	1	0	14	31,199

※AV資料の除籍については2012年度より開始。

(4) 学習図書年度別受入一覧

(2012)

年度	和書 (冊数)	洋書 (冊数)	図書合計	雑誌 (冊数)	A V資料 (点数)	マイクロ資料 (リール・箱)
1983	4,222	40	4,262	23	6	0
1984	6,220	226	6,446	28	10	578
1985	6,814	129	6,943	44	190	882
1986	7,170	273	7,443	95	332	851
1987	6,499	857	7,356	48	333	792
1988	5,298	134	5,432	0	505	717
1989	4,839	219	5,058	0	607	992
1990	4,811	249	5,060	0	1,046	162
1991	5,003	289	5,292	0	1,418	217
1992	4,645	221	4,866	0	1,775	313
1993	4,971	233	5,204	0	1,318	508
1994	4,705	179	4,884	0	1,015	199
1995	4,473	149	4,622	0	1,277	130
1996	5,515	120	5,635	0	1,424	57
1997	5,247	204	5,451	0	1,237	64
1998	4,832	116	4,948	0	1,472	81
1999	4,953	192	5,145	0	1,613	70
2000	4,543	185	4,728	0	1,705	86
2001	4,387	153	4,540	0	1,882	140
2002	4,984	184	5,168	0	1,685	136
2003	4,623	248	4,871	0	2,017	72
2004	4,049	329	4,378	0	1,988	81
2005	3,843	649	4,492	0	2,469	91
2006	3,907	306	4,213	0	1,892	129
2007	4,497	152	4,649	0	1,159	347
2008	4,481	270	4,751	0	1,567	193
2009	4,982	223	5,205	0	1,648	131
2010	5,089	216	5,305	0	1,344	94
2011	5,183	158	5,341	0	1,136	72
2012	5,275	595	5,870	0	950	69
合計	150,060	7,498	157,558	238	37,020	8,254

毎年全学生から学習図書整備費として特別に徴収された資金により、学生の勉学に必要なと思われる資料を選定し購入

(5) 電子情報資源種類数

	和	洋	計
電子ジャーナル (タイトル数)	512	19,641	20,153
電子ブック (タイトル数)	0	183	183
データベース (パッケージ数)	11	18	29

3 整理業務統計

(1) 図書整理冊数

(2012)

	和書	洋書	小計
新規	9,062	3,448	12,510
再整理	1,885	1,867	3,752
遡及(内部)	3,362	2	3,364
遡及(外注)	0	0	0
合計	14,309	5,317	19,626

(2) 修士論文整理冊数

(GM44)

	専攻	件数	冊数
経済学研究科	経済学/経営学	8	8
文学研究科	国文学	6	6
	英文学	4	4
	日本常民文化	11	11
	美学・美術史	8	9
	コミュニケーション学	2	2
	ヨーロッパ文化	2	2
法学研究科	法律学	0	0
社会イノベーション研究科	社会イノベーション学	6	6
合計		47	48

(3) 博士論文整理冊数

(2012)

	今年度		累計	
	件数	冊数	件数	冊数
経済学	0	0	4	4
文学	2	2	31	38
法学	0	0	7	7
合計	2	2	42	49

(4) N I I 登録件数

(2012)

	和書 および 洋書	累計
書誌新規登録	617	3,266
所蔵新規登録	26,833	164,718

4 運用業務統計

(1) 入館者統計

(2012)

	開館日数	学 生	教職員	中高生	高校生	学習院		成 蹊		武 蔵		国士館		駒澤		昭和女子		東京農業		東京都市		学 外 者	合 計	
						教職員	学生	教職員	学生	教職員	学生	教職員	学生			教職員								
4月	24	16,944	903	0	0	0	1	0	0	1	0	3	0	3	0	0	0	0	0	4	0	0	355	18,214
5月	24	21,282	1,046	1	165	4	1	0	2	0	3	0	0	5	0	0	0	0	0	5	0	0	371	22,885
6月	26	21,649	1,096	0	75	22	1	0	2	1	9	0	1	4	0	0	0	0	0	4	0	0	436	23,300
7月	28	35,955	1,064	0	76	19	0	0	2	0	5	1	3	0	2	0	1	0	0	1	0	0	318	37,447
8月	18	2,355	334	0	6	4	0	0	0	1	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	1,714	4,423
9月	23	8,774	667	0	37	5	1	0	1	0	0	1	2	0	13	0	0	0	0	1	0	0	203	9,705
10月	27	22,685	1,055	0	85	4	0	0	1	0	5	0	7	0	9	0	1	0	0	4	0	0	475	24,331
11月	24	22,855	953	0	69	9	0	0	10	2	9	0	7	0	5	0	0	0	1	0	0	2	389	24,311
12月	20	19,549	759	0	66	5	1	2	10	0	3	0	4	0	8	0	0	0	0	3	0	0	243	20,653
1月	22	26,790	695	0	17	11	0	0	4	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	133	27,654
2月	21	1,971	414	0	5	3	0	0	0	1	0	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	119	2,517
3月	24	1,357	481	0	0	5	0	0	4	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	136	1,984
合計	281	202,166	9,467	1	601	4	2	2	36	6	35	3	29	0	60	0	2	1	25	1	0	2	4,892	217,424

(2) 月別図書貸出統計

※集計単位は冊数

(2012)

図書館配架区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
3 F	908	1,525	1,677	2,687	699	1,250	2,161	2,433	2,824	2,321	421	248	19,154
3 F 大型本	0	5	9	10	3	4	14	10	9	6	4	0	74
3 F ガイドブック	54	77	91	130	42	62	90	94	92	67	19	11	829
2 F	1,222	2,114	2,186	3,212	877	1,684	2,609	2,848	2,854	2,351	474	244	22,675
岩波文庫(2 F)	59	112	135	102	21	63	116	132	108	77	34	14	973
岩波新書(2 F)	32	62	59	98	18	43	62	72	70	52	28	6	602
文庫クセジュ(2 F)	4	8	7	7	5	7	20	12	18	12	1	3	104
2 F 大型本	12	17	15	34	7	23	19	24	21	28	2	1	203
1 F 参考図書	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
B 2 F	47	33	42	68	17	43	45	66	58	35	12	5	471
貴重書室	0	0	0	0	2	7	2	0	0	0	0	0	11
B 3 F	195	399	288	339	145	350	457	456	358	213	211	256	3,667
B 3 F 大型本	1	3	2	5	8	4	3	2	3	6	3	1	41
B 3 F 未配架	1	0	0	2	0	1	2	0	1	2	0	2	11
B 3 F 貴重書	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
旧館6層	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
旧館5層	2	2	3	1	1	1	6	4	2	2	1	8	33
旧館3層	0	1	1	2	0	1	4	2	6	1	1	0	19
旧館1層	62	22	9	13	4	18	14	17	21	8	16	33	237
旧館1層大型本	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
貸倉庫	5	2	0	0	2	6	0	3	4	0	0	0	22
貸倉庫2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	2,604	4,382	4,527	6,710	1,851	3,567	5,624	6,175	6,449	5,181	1,227	832	49,129

(3) 分野別図書貸出統計

※集計単位は冊数

(2012)

	図書資料分野区分											計
	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	工学/工業	産業	芸術	語学	文学	その他	
学生	959	3,332	3,559	12,646	943	1,029	1,629	5,126	2,093	5,015	0	36,331
大学院生	169	208	429	1,087	99	43	55	792	165	817	0	3,864
非正規生	27	148	130	202	40	29	10	161	54	124	0	925
大学専任教員	170	221	288	1,454	205	194	108	170	119	315	0	3,244
大学非常勤教員	49	135	304	417	33	29	24	251	60	383	0	1,685
その他教職員	219	166	302	875	64	66	82	226	109	369	0	2,478
学習院大学	0	1	5	25	0	0	0	0	0	4	0	35
成蹊大学	0	0	0	13	3	0	0	0	0	3	0	19
武蔵大学	0	0	0	2	0	1	0	2	0	2	0	7
国士館大学	0	11	2	1	0	0	0	0	0	0	0	14
駒澤大学	0	6	3	3	0	0	0	0	23	12	0	47
昭和女子大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東京農業大学	0	0	0	30	0	0	1	0	0	3	0	34
東京都市大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
卒業生	3	15	14	92	0	1	2	10	14	38	0	189
大学院修了者	8	39	28	74	0	1	6	36	5	40	0	237
学園中学・高校生	1	2	6	8	0	2	0	0	0	1	0	20
小計	1,605	4,284	5,070	16,929	1,387	1,395	1,917	6,774	2,642	7,126	0	49,129
比率	3.3%	8.7%	10.3%	34.5%	2.8%	2.8%	3.9%	13.8%	5.4%	14.5%	0.0%	100.0%

(4) ベストリーダー 年間貸出回数 上位30位

順位	書名	著者名	出版社	貸出回数
1	現代独和辞典	ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実共編	三修社	39
2	新国際法講義	森川俊孝, 佐藤文夫編著	北樹出版	32
3	美学辞典	佐々木健一著	東京大学出版会	30
4	ヒッチコック『裏窓』ミステリの映画学	加藤幹郎著	みすず書房	29
5	グリム童話を読む事典	高木昌史著	三交社	25
6	旺文社レクシス英和辞典	花本金吾, 野村恵造, 林龍次郎編	旺文社	22
7	ゼロからの美学	淺沼圭司著	勁草書房	21
8	言語と行為	J.L. オースティン著	大修館書店	20
8	労働法	奥山明良著	新世社	20
10	オタクから見た日本社会	東浩紀著	講談社	19
10	西洋美学史	小田部胤久著	東京大学出版会	19
12	ネットが変える消費者行動：クチコミの影響力の実証分析	宮田加久子, 池田謙一編著	NTT出版	18
13	ヒトラーを支えたドイツ国民	ロバート・ジユラヴァリー[著]	みすず書房	17
14	一般言語学講義	フェルディナン・ド・ソシュール[著]	岩波書店	16
14	モードの社会史：西洋近代服の誕生と展開	能沢慧子著	有斐閣	16
14	美の秘密：二つの弥勒菩薩像 シンボリズム	上原和[ほか]著	日本放送出版協会	16
14	広隆寺史の研究	林南寿著	中央公論美術出版	16
14	音楽未来形：デジタル時代の音楽文化のゆくえ	増田聡, 谷口文和著	洋泉社	16
19	学問のすすめ：現代語訳	福澤諭吉著	筑摩書房	15
19	ギリシア神話：神々と英雄に出会う	西村賀子著	中央公論新社	15
19	よくわかる卒論の書き方	白井利明, 高橋一郎著	ミネルヴァ書房	15
22	アート・プロデュースの現場	境新一編	論創社	14
22	くじらの文化人類学：日本の小型沿岸捕鯨	ミルトン・M.R. フリーマン編著	海鳴社	14
22	アート・オブ・ヒッチコック：53本の映画術	ドナルド・スポーター著	キネマ旬報社	14
22	放送の20世紀：ラジオからテレビ、そして多メディアへ	日本放送出版協会編集	日本放送出版協会	14
22	テレビ視聴の50年	NHK放送文化研究所編	日本放送出版協会	14
27	ドイツ文化入門：16世紀から現代まで	若尾祐司, 井上茂子編	昭和堂	13
27	会社法	神田秀樹著	弘文堂	13
27	ソレイシイの英会話ピタリ表現でいくしよなりい	ステイプ・ソレイシイ著	語研	13
27	2: Teacher's Book(朱書編)；New horizon English course：teacher's manual	東京書籍著	東京書籍	13
27	風土記	植垣節也校注・訳	小学館	13
27	イノベーションのジレンマ：技術革新が巨大企業を滅ぼすとき	クレイトン・クリステンセン著	翔泳社	13
27	ドイツ史10講	坂井榮八郎著	岩波書店	13
27	学ぶ意欲の心理学	市川伸一著	PHP研究所	13
27	デザイン・ワールドで私が学んだ10のルール：お客様もあなたも笑顔になる	デニス・スノー著	実務教育出版	13

(5) 閉架書庫内図書月別利用統計

(2012)

	学生（含院生）		専任教員		非常勤教員		大学職員		その他		合計	
	人数	総数	人数	総数	人数	総数	人数	総数	人数	総数	人数	総数
4月	11	11	0	0	1	1	0	0	5	9	17	21
5月	61	81	0	0	3	3	0	0	4	7	68	91
6月	71	105	2	2	0	0	2	3	16	37	91	147
7月	83	142	1	6	0	0	0	0	5	11	89	159
8月	24	38	3	18	0	0	0	0	5	7	32	63
9月	64	114	0	0	0	0	0	0	2	2	66	116
10月	91	135	1	2	0	0	0	0	7	17	99	154
11月	133	236	0	0	0	0	2	2	11	30	146	268
12月	134	216	0	0	1	2	1	1	6	16	142	235
1月	39	66	0	0	0	0	1	3	1	4	41	73
2月	5	6	1	1	1	2	1	2	3	6	11	17
3月	10	17	0	0	1	2	1	1	2	7	14	27
合計	726	1,167	8	29	7	10	8	12	67	153	816	1,371

*閉架書庫とはB3F書庫、旧館書庫である。

*専任教員、非常勤教員、大学院生はB3F書庫への入庫利用が可能。

(6) 閉架書庫内雑誌月別利用統計

(2012)

	学生（含院生）		専任教員		非常勤教員		大学職員		その他		合計	
	人数	総数	人数	総数	人数	総数	人数	総数	人数	総数	人数	総数
4月	4	5	0	0	4	6	0	0	1	1	9	12
5月	9	9	0	0	3	3	0	0	2	6	14	18
6月	11	14	1	1	1	1	0	0	0	0	13	16
7月	28	28	0	0	1	1	0	0	2	7	31	36
8月	13	15	0	0	0	0	0	0	1	1	14	16
9月	41	53	3	3	1	2	0	0	1	1	46	59
10月	48	52	5	5	3	3	0	0	3	7	59	67
11月	44	46	1	13	0	0	0	0	5	11	50	70
12月	33	38	1	30	0	0	0	0	6	12	40	80
1月	8	8	0	0	0	0	0	0	1	1	9	9
2月	19	19	1	1	1	1	0	0	1	1	22	22
3月	1	1	1	1	0	0	0	0	1	1	3	3
合計	259	288	13	54	14	17	0	0	24	49	310	408

*人数＝雑誌閲覧請求者数、総数＝雑誌閲覧請求冊数。

*閉架書庫とはB3F書庫、旧館書庫である。

*専任教員、非常勤教員、大学院生はB3F書庫への入庫利用が可能。

(7) 貸倉庫預入資料利用統計

資料種別		2012年度 預入箱数	2012年度 戻入箱数	2012年度末 預入箱数	2012年度 利用請求冊数
図書	和書	811 箱	2 箱	2,115 箱	245 冊
	洋書	0 箱	0 箱	3,869 箱	125 冊
雑誌	Times (*)	0 冊	0 冊	578 冊	0 冊
	その他	0 箱	0 箱	188 箱	0 冊
AV資料		180 箱	0 箱	253 箱	0 冊
学園関係資料		0 箱	0 箱	90 箱	1 冊
合計		991 箱	2 箱	7,093 箱	371 冊

(*)はTimes(オリジナルの大型本)で預入単位は冊数、その他は箱単位である。
貸倉庫への預入開始は1996年度からである。

(8) 貸倉庫資料利用請求冊数内訳

(2012)

	短大資料	短大以外資料
和書	171 冊	74 冊
洋書	66 冊	59 冊
雑誌	0 冊	0 冊
AV	0 冊	0 冊
学園	0 冊	1 冊
合計	237 冊	134 冊

(9) 研究室別貸出図書統計

研究室名		2012年度 貸出冊数		
		和書	洋書	計
大学院	法学	7	0	7
	国文	3,935	5	3,940
	英文	10	607	617
	日本常民文化	1,569	307	1,876
	美学美術史	425	605	1,030
	コミュニケーション	77	2,859	2,936
	ヨーロッパ文化	16	559	575
	社会イノベーション	0	0	0
	計	6,039	4,942	10,981
資料室等	経済共用研究室	1,613	770	2,383
	文芸共用研究室	13,950	4,034	17,984
	文芸学部資料室	499	10	509
	法学資料室	5,265	15,676	20,941
	法学部専任教員室	14	0	14
	社イノ研究事務室	60	86	146
	体育科	3,952	83	4,035
	共通教育研究センター	41	6	47
	計	25,394	20,665	46,059
研究所	民俗学研究所	19	0	19
	経済研究所	0	1,427	1,427
	教育研究所	740	686	1,426
	計	759	2,113	2,872
	総計	32,192	27,720	59,912

2010年度より、E-Catsの配架先から算出

(10) 研究室別貸出雑誌統計

研究室名		2012年度 カレント雑誌貸出冊数				2012年度末 製本雑誌貸出冊数			
		和雑誌	洋雑誌	大学紀要	計	和雑誌	洋雑誌	大学紀要	計
大学院	法学	2,165	0	0	2,165	1	0	0	1
	国文	8	0	0	8	0	0	0	0
	英文	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本常民文化	20	234	0	254	0	0	0	0
	美学美術史	0	17	0	17	0	0	0	0
	コミュニケーション	0	2	0	2	0	0	0	0
	ヨーロッパ文化	23	106	29	158	0	14	0	14
	社会イノベーション	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	2,216	359	29	2,604	1	14	0	15
資料室等	経済共用研究室	0	0	0	0	0	0	0	0
	文芸共用研究室	0	0	0	0	0	0	0	0
	文芸学部資料室	11	0	0	11	0	0	0	0
	法学資料室	6,515	17,687	2,986	27,188	6,452	4,869	5,735	17,056
	法学部専任教員室	35	17	0	52	0	0	0	0
	社イノ研究事務室	5	0	0	5	0	0	0	0
	体育科	1,526	372	186	2,084	0	0	0	0
	共通教育研究センター	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	8,092	18,076	3,172	29,340	6,452	4,869	5,735	17,056
	総計	10,308	18,435	3,201	31,944	6,453	4,883	5,735	17,071

2010年度より、E-Catsの配架先から算出

(11) 施設利用統計

(2012)

	研究個室			グループ学習室	共同研究室
	利用件数	継続人数	継続日数	利用件数	利用件数
4月	119	12	84	19	5
5月	155	8	123	38	10
6月	174	20	140	44	12
7月	180	24	159	122	7
8月	49	12	66	6	0
9月	88	12	80	11	2
10月	172	22	154	52	9
11月	144	17	113	54	8
12月	109	16	98	42	7
1月	118	13	91	64	18
2月	25	5	28	3	1
3月	35	9	63	2	8
合計	1,368	170	1,199	457	87

1. 研究個室は2Fに12室、3Fに10室ある。利用対象は大学院生と教職員。
継続人数・日数の数値は、継続利用できる6室の統計。
2. グループ学習室はB1Fに4室あり、その内の利用申込が必要な3室の統計。利用対象は学部生。
3. 共同研究室は2F、3Fそれぞれ1室ある。利用対象は大学院生と教職員。

(12) 貴重書室利用統計

(2012)

利用件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計
		0	1	0	1	0	6	0	0	1	0	1	2

(13) 3号館雑誌室・書庫利用統計

(2012)

	開室日数	入室者数	日平均入室者数	出納件数	
4月	24	285	12	1	
5月	24	425	18	7	
6月	26	430	17	11	
7月	26	880	34	17	
8月	7	37	5	2	* 1
9月	18	204	11	6	
10月	27	502	19	31	
11月	24	501	21	13	
12月	20	586	29	10	* 2
1月	20	711	36	15	
2月	21	165	8	1	
3月	24	202	8	12	
合計(平均)	261	4928	(20)	126	

* 小数点以下を四捨五入

* 1. 8/9 ~ 8/15 : 夏季一斉休暇

* 2. 12/25 ~ 1/6 : 冬期休暇

(1 4) 日曜・祝日図書館臨時開館入館者統計

臨時開館日	入館者数	開館時間
2008年 1月13日(日)	102	9:00~16:00
1月14日(祝)	131	9:00~16:00
7月13日(日)	220	9:00~16:00
7月20日(日)	231	9:00~16:00
2009年 1月11日(日)	76	9:00~16:00
1月12日(祝)	103	9:00~16:00
7月19日(日)	211	9:00~16:00
7月20日(祝)	436	9:00~16:00
2010年 1月16日(土)	346	9:00~16:00
1月17日(日)	316	9:00~16:00
7月18日(日)	244	9:00~17:00
7月19日(祝)	495	9:00~17:00
2011年 1月15日(土)	311	9:00~17:00
1月16日(日)	215	9:00~17:00
7月24日(日)	122	9:00~17:00
7月31日(日)	58	9:00~17:00
2012年 1月14日(土)	202	9:00~17:00
1月15日(日)	179	9:00~17:00
7月22日(日)	252	9:00~17:00
7月29日(日)	123	9:00~17:00
2013年 1月19日(土)	208	9:00~17:00
1月20日(日)	198	9:00~17:00

*2008年1月から試験対策として試験期間前または試験期間中の日曜・祝日等を対象に臨時開館を開始した。

*後期試験の直前に開館した方が、学生へのメリットが多いと判断し、2009年度には関係部局の了解のもとでセンター試験当日に1時間延長して開館した。

5 参考業務統計

図書館間相互協力

単位は件数

サービス種別		文書による調査		文献複写		閲覧願	
		2011年度	2012年度	2011年度	2012年度	2011年度	2012年度
受付	他大学から	53	49	685	657	59	35
	大学以外から	9	12	60	27	8	4
	国外から	0	0	24	14	0	0
	受付小計	62	61	769	698	67	39
依頼	他大学へ	42	55	486	554	32	43
	大学以外へ	2	11	39	48	2	2
	国外へ	0	0	12	20	0	0
	依頼小計	44	66	537	622	34	45
合計 受付+依頼		106	127	1,306	1,320	101	84

サービス種別		資料貸借	
		2011年度	2012年度
受付（貸出）	他大学から	148	148
	大学以外から	14	15
	国外から	3	5
	受付（貸出）小計	165	168
依頼（借受）	他大学へ	121	189
	大学以外へ	6	3
	国外へ	1	2
	依頼（借受）小計	128	194
合計 受付+依頼		293	362

6 AV資料等運用業務統計

(1) AVマイクロ資料利用統計

(2012)

開室日数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計	
		20	24	28	26	18	23	27	24	20	20	20	24	274日	
ビジュアル資料 (NDC分類)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	6件	
	1	0	0	4	1	0	0	0	0	4	0	0	0	9件	
	2	1	3	13	10	2	1	1	0	2	3	1	2	39件	
	3	0	10	8	10	0	1	3	0	6	0	1	0	39件	
	4	2	2	1	3	0	0	0	3	3	6	0	0	20件	
	5	2	2	1	2	0	0	0	1	1	0	0	0	9件	
	6	3	2	2	0	0	2	0	0	1	1	0	0	11件	
	7	映画	581	835	853	638	125	306	780	693	524	384	70	68	5,857件
		その他	178	245	301	223	28	139	240	234	204	133	16	15	1,956件
	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0件	
	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1件	
	持ち込み	67	76	74	51	4	4	34	18	32	30	1	0	391件	
	付属資料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0件	
小計	834	1,175	1,257	938	159	453	1,058	949	783	557	90	85	8,338件		
オーディオ資料	古典音楽	7	12	17	9	0	3	9	7	1	2	1	1	69件	
	その他音楽	19	12	3	10	1	4	8	12	4	2	0	0	75件	
	語学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0件	
	文芸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0件	
	その他	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	3件	
	持ち込み	2	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	4件	
	付属資料	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1件	
	小計	29	24	20	19	1	7	20	19	7	4	1	1	152件	
マイクロ資料	新聞	0	5	56	25	16	10	1	0	5	25	15	7	165件	
	その他	0	5	5	0	0	0	1	4	3	0	6	17	41件	
	持ち込み	0	0	0	0	5	1	0	0	0	0	0	0	6件	
	小計	0	10	61	25	21	11	2	4	8	25	21	24	212件	
資料総計	863	1,209	1,338	982	181	471	1,080	972	798	586	112	110	8,702件		

開架CDのオーディオソファアでの利用を除く

(2) AVホール利用統計

(2012)

利用件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計
		10	4	7	15	0	1	11	15	15	1	4	4

新入生ガイダンスでの利用を除く

(3) AVゾーン利用者別統計

(2012)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計	
利用者	学生	1,094	1,422	1,444	1,062	148	445	1,288	1,122	882	603	72	82	9,664人
	大学教員	5	19	15	16	2	8	13	3	7	3	3	0	94人
	学園教員	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1人
	全学職員	1	3	4	3	0	0	0	0	2	1	1	1	16人
	その他	12	9	10	4	2	18	7	16	9	3	1	0	91人
合計	1,112	1,454	1,473	1,085	152	471	1,308	1,141	900	610	77	83	9,866人	

(4) マイクロ資料利用者別統計

(2012)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計
学生	0	0	1	0	0	0	0	2	3	0	0	0	6人
大学教員	0	2	1	2	8	3	0	0	1	2	4	2	25人
学園教員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0人
全学職員	0	1	0	0	0	4	0	0	0	1	0	4	10人
その他	0	1	1	0	0	0	2	0	1	0	1	1	7人
合計	0	4	3	2	8	7	2	2	5	3	5	7	48人

(5) 保守点検等

- ・AVホール保守点検(2013年2月4日)
- ・AVゾーン保守点検(2013年2月5日)

7 図書館機械化の経緯と現状

(1) システム導入の経緯

1. 1994. 9. 1 CALIS基本システム 導入
2. 1995. 12. 1 OPAC用端末 3台 開放
3. 1995. 1. 1 洋書閲覧用カード 凍結
4. 1995. 7. 30 データ遡及入力の外注開始
5. 1995. 9. 26 学内LAN設置 (インターネット接続)
6. 1995. 10. 30 学術情報センターCAT 接続完了
7. 1995. 11. 1 学術情報センター接続システム 導入
8. 1996. 1. 1 和書閲覧用カード 凍結
9. 1996. 1. 30 ネットワーク用OPAC 導入
10. 1996. 2. 23 学術情報センターへの所蔵登録 開始
11. 1996. 3. 1 ネットワーク用OPAC 開放
12. 1996. 4. 1 閲覧システム 稼働
13. 1996. 4. 16 学術情報センターILLシステム 参加
14. 1996. 7. 1 新着図書案内 開始
15. 1997. 7. 1 雑誌管理システム 一部開始
16. 1998. 4. 1 蔵書点検システム 開始
17. 1998. 4. 1 図書管理システム 導入
18. 1999. 10. 14
-15 新業務サーバー データコンバートテスト
19. 1999. 11. 1 新業務サーバー 稼働
20. 2000. 1. 1 WebOPAC 稼働
21. 2000. 3. 27 図書館ホームページ 開設
22. 2000. 4. 5 WebOPAC用PC端末 3台 設置
23. 2000. 6. 22 図書館ネットワーク用代理サーバー 移設
24. 2001. 11. 1 WebOPAC用PC端末 3台 設置
25. 2002. 6. 1 WebOPAC用PC端末 5台 設置
26. 2002. 11. 5 情報コンセント 30口 設置
27. 2003. 6. 24 WebOPAC用PC端末 2台 設置
28. 2004. 3. 25 情報コンセント 4口・無線LAN AP 設置
29. 2004. 8. 16 新業務サーバ 稼働
CATP-CASE3システム 稼働
WebOPAC用PC端末 5台 設置
VTSS接続 廃止
LAT 廃止
30. 2004. 10. 28 CD/DVD-ROMサーバ サービス開始
31. 2005. 1. 8 利用状況照会サービス 開始
32. 2005. 12. 21 CD-ROM検索端末 2台 置き換え
33. 2006. 1. 10 WebOPAC用PC端末 3台 置き換え

- 34. 2006. 7. 11 WebOPAC用PC端末 2台 置き換え
- 35. 2006. 8. 17 図書館LANの独立
- 36. 2006. 9. 20 CASE3 AVシステム 開始
- 37. 2007. 4. 1 WebOPAC AVシステム対応 サービス開始
- 38. 2007. 6. 11 情報アクセス端末 10台 設置
- 39. 2007. 9. 25 3号館雑誌室・書庫 開室
- 40. 2008. 6. 5 情報アクセス端末 10台 増設
- 41. 2009. 4. 1 AV用OPAC→WebOPAC用端末 5台 置き換え
- 42. 2010. 8. 16 図書館システムをNEC E-Cats Libraryに変更
WebOPAC用PC端末 12台 置き換え
自動貸出装置 1台 設置
- 43. 2010. 9. 24 MNC管轄の学習用PC 15台 設置
MNC管轄のオンデマンドプリンタ 1台 設置
- 44. 2012. 8. 16 次世代OPAC 稼働
- 45. 2012. 8. 31 WebOPAC用PC端末 5台 廃止
- 46. 2012. 10. 19 成城大学リポジトリ 公開
- 47. 2013. 3. 18 情報アクセス端末 20台 廃止
- 48. 2013. 3. 25 MNC管轄の学習用PC 35台 設置 (+15台 置き換え)

(2) 現状

1. 入力蔵書データ数 (2013年3月31日現在)

和書	465,408冊	洋書	294,730冊	計	760,138冊
和雑誌	181,535冊	洋雑誌	84,229冊	計	265,764冊
和AV	30,734点	洋AV	37,174点	計	67,888点

※除籍資料等のデータを含む

2. 接続端末等

- a. 利用者用端末数 OPAC用 17
CD-ROM用 2, CD-ROM用プリンター 1
- b. 業務用端末数 スタッフ用 37
カウンター用 7
作業用 3 (研究室貸出・4F・B3F)
ノート 5
- c. その他 プリンター 8, 複合機 2
- d. MNC管轄 学習用PC 50
- e. 情報コンセント 34, 無線LAN AP 3
- f. 3号館雑誌室・書庫
業務用PC 4, 利用者用PC 3, MNC管轄 学習用PC 8, プリンター 2

8 図書館施設概要

図書館

竣工	1989年8月	
構造	鉄筋コンクリート造	地上5階 地下3階 塔屋1階
建築面積	1,088.16㎡	
延床面積	6,525.79㎡	
塔屋	5.17㎡	
5 F	140.00㎡	機械室
4 F	648.36㎡	事務室 館長室 会議室 ワークルーム スタッフルーム
3 F	877.38㎡	開架閲覧室 共同研究室 研究個室 閲覧室 コピー室 休憩室
2 F	903.81㎡	開架閲覧室 共同研究室 研究個室 閲覧室 コピー室 休憩室
1 F	986.95㎡	メインカウンター レファレンスカウンター コピー室 参考図書コーナー 新刊雑誌コーナー 新聞コーナー 目録コーナー 検索端末コーナー ワークルーム
B1F	799.84㎡	開架閲覧室 グループ学習室 製本準備室 コピーコーナー AVマイクロ保存室
B2F	1,067.98㎡	開架閲覧室 貴重書室 AVマイクロ資料室 AVカウンター AVゾーン AVルーム AVホール
B3F	1,096.30㎡	保存書庫 機械室 電気室
収蔵能力合計	672,000冊	(開架 286,000冊 閉架 386,000冊) 2001、2002年度に開架各6,000冊分を増設
閲覧座席数	524席	2001、2002年度に各10席分を増設
AVホール	90席	

大学4号館（旧図書館）

竣工	1968年8月			
構造	鉄筋コンクリート造	地上4階 積層書庫6層		
	1989年11月より学内他部局と共用			
図書館使用部分	書庫6層	79.38㎡	書庫5層	79.38㎡
	書庫3層	158.76㎡	書庫1層	158.76㎡
	1F荷解室	38.88㎡	1F保管室	48.60㎡
	書庫部分の収蔵能力合計 120,000冊			

3号館雑誌室および書庫

竣工	2007年9月	
構造	鉄筋コンクリート造	地上8階 地下1階
図書館使用部分	雑誌室(3F)	191.24㎡
	書庫(B1F)	325.66㎡(2層分計)

2 図書館職員一覧

V トピック

韓国の大学図書館見学の報告

去る2012年6月29日、30日の2日間で韓国ソウル市付近に位置する4大学図書館を見学して参りました。見学メンバーは2011年度私立大学図書館協会海外集合研修に同行した他大学職員5名と私の6名で、協定留学を締結している（本学を除く）、延世大学、梨花女子大学、東国大学、成均館大学の図書館を訪問し、インタビューを行いました。

6名で執筆した詳しい報告書は、上記協会の主催する2012年度海外認定研修に採用されたのでこちらをご覧ください。

http://www.jaspul.org/ind/committee/kokusai/nintei_report2012_1.pdf

IT先進国としてハイテク産業を中心に経済成長が目覚ましい韓国では、2000年以降政府主導による図書館整備・情報化の推進が国家事業として行われ図書館は情報化政策の中心を担う機関として、その存在が重要視されています。

訪問した4大学の中でも特に質・量共に先端ICT施設を導入しているのが、2008年に開館した延世・サムスン学術情報センターでした。この複合的図書館は機能的に2棟に分かれており、一方は伝統的なスタイルの（紙媒体の資料を所蔵している）中央図書館と、もう一方は大小多数の快適な閲覧・学習スペースを中心に、撮影スタジオやミニシアターを備えたメディア編集フロアや、多言語対応のPCコーナー、屋上カフェ等も併設された近代的なサムソンライブラリーで構成されています。

利用者の学生はスマートフォンや学生証をかざしてエントランスゲートを抜けると、まずはキオスク端末（銀行のATMのような端末）で、館内の空席状況を確認しながら希望の座席や学習室を予約します。ラウンジには52インチLCD5台で構成されたインフォメーションパネルや、タッチパネル式の大型電子新聞、ディスプレイを装備したグループ席が多数並び、フロアに広がった液晶画面の多さに圧倒されます。

当館は韓国国内でも特に先進的設備を有する私立大学図書館ですが、他に訪問した3大学でも座席予約システムや大型電子新聞は標準設備として設置されており、お国柄得意な産業分野だけに公共図書館においてもこの2点は広く普及されているそうです。その他珍しい装置としては、電子レンジ型の資料自動除菌装置や、スマートフォン充電コーナー等も見受けられました。

大企業からの大学図書館への寄付により、新たな建物の建築、環境の整備が計られています。米国のように寄付文化として根付いているというよりも、卒業生がそれら大企業の重要ポストについていて必要な際にその都度寄付を募るようです。

見学後、司書の方に、急速に進むIT化の渦中で、従来の司書としての仕事の変化に戸惑いはないかと質問したところ、「変化と言うよりも新しい機能の追加に過ぎず、図書館の役割は従来となんら変わらない。」との返答を受けとても印象的でした。一昨年米国大学図書館を訪問した際に現地司書が言った「我々は利用者が求める答えを即座に教えるのではなく、魚釣りに必要な道具を与えるだけだ。」というセリフを思い出します。

成城大学図書館でも今夏の様々なアクティブラーニング設備の開設以降、熱心に学習に取り組む学生が増えてきたように思えます。それぞれの図書館により設備や提供サービスに違いがあるのは当然ですが、図書館が大学内の「知の交差点」として、様々な良い出会いがあり、学習支援の最高拠点として発展し続けることを願っています。

（総務課 職員）

歴代図書館長

1	中野 三郎 (成城大学)	1953年4月	～	1955年3月
2	池田 勉 (文芸学部)	1955年4月	～	1965年3月
3	岡田 俊平 (経済学部)	1965年4月	～	1971年3月
4	宮崎 孝一 (文芸学部)	1971年4月	～	1975年3月
5	上野 格 (経済学部)	1975年4月	～	1979年3月
6	石川 弘義 (文芸学部)	1979年4月	～	1983年3月
7	安田 一郎 (法学部)	1983年4月	～	1987年3月
8	横川 新 (法学部)	1987年4月	～	1991年3月
9	木綿 良行 (経済学部)	1991年4月	～	1995年3月
10	毛利 三彌 (文芸学部)	1995年4月	～	1997年3月
11	木村周市朗 (経済学部)	1997年4月	～	2001年3月
12	新山 一雄 (法学部)	2001年4月	～	2005年3月
13	浅井 良夫 (経済学部)	2005年4月	～	2009年3月
14	福光 寛 (経済学部)	2009年4月	～	2011年3月
15	木畑 洋一 (法学部)	2011年4月	～	

略史

1926年	4月	成城高等学校 創設
1927年	4月	成城高等女学校 創設
1928年	12月	「澤柳記念図書館」 竣工
1950年	4月	成城大学経済学部 成城大学理学部 開設
1952年	3月	成城大学理学部 廃止
1953年	11月	「成城学園中央図書館」と改称
1954年	4月	成城大学文芸学部 成城大学短期大学部 開設
1957年	4月	旧図書館 (旧柳田文庫) 増改築 「成城大学図書館」と改称
1968年	8月	旧図書館 (大学4号館) 竣工
	9月	開館
1977年	4月	成城大学法学部 開設
1989年	8月	新図書館 竣工
	11月	開館
2005年	4月	社会イノベーション学部 開設
2007年	9月	3号館雑誌室および書庫 開設

成城大学図書館年報 第14号

2012年度図書館業務報告

2014年2月10日発行

編集・発行 成城大学図書館

〒 157-8511 東京都世田谷区成城6-1-20

電話 03-3482-3555 (ダイヤルイン)

URL <http://www.seijo-lib.jp/>